

京都市子育て支援に関する市民ニーズ調査

報 告 書

(概要版)

平成16年10月

京 都 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法等	1
3. 調査内容	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
II. 調査対象の子どもと家族の状況	3
1. 子どもの年齢（学年）	3
2. 家族・子どもの人数	3
3. 父母の就労状況	4
4. 育児・家事を主にしている人	5
III. 調査結果	6
1. 子育て支援施策・サービスの利用意向と利用状況	6
(1) 保育サービスなどの利用意向〔平日〕【就学前児童】	6
(2) 保育サービスなどの利用状況〔平日〕【就学前児童】	7
(3) 保育サービスなどの利用意向〔休日〕【就学前児童】	9
(4) 学童クラブ事業などの利用意向【小学生】	10
(5) 学童クラブ事業などの利用状況【小学生】	11
(6) その他の保育サービスなどの利用状況	13
2. 病気や緊急時の対応状況	14
(1) 子どもの病時の預かりについて【就学前児童】	14
(2) 緊急時などの日中の一時預かりについて	15
(3) 宿泊を伴う預かりについて	16
3. 保護者の就労状況及び子育てと仕事の両立に関する意向	17
(1) 保護者の就労状況	17
(2) 育児休業の取得状況	18
(3) 父親が子育てにかかわりづらい理由	19
(4) 子育てと仕事の両立に関する意向	20
4. 子育てについて日頃感じていること	21
(1) 子育てについての気持ち	21
(2) 子育てについての悩み、不安	23

5. 子どもの健康、事故・犯罪防止のための家庭での対策 -----	26
(1) 食事の状況 -----	26
(2) 医療について -----	26
(3) 事故・犯罪防止について -----	27
6. 地域における子育て支援への意向 -----	28
(1) 子育てに必要な情報の入手先 -----	28
(2) 子育てをするうえで地域に期待すること -----	29
(3) ファミリーサポート事業の利用状況及び利用意向 -----	30
7. 子どもの遊び場や子育て環境 -----	31
(1) 子どもの主な遊び場・放課後に過ごす場所 -----	31
(2) 子どもとの外出の際、困ること【就学前児童】 -----	32
(3) 児童館の利用 -----	33
8. 自主活動、地域活動について -----	35
(1) 自主的な活動への参加状況【就学前児童】 -----	35
(2) 地域活動への参加状況【小学生】 -----	37
9. 子育て環境について -----	39
(1) 子育て支援サービスの認知度・利用状況、今後の利用意向 -----	39
(2) 子育てに関して市・府・国に期待すること -----	41
10. 少子化について -----	42
子どもの数の理想と実際 -----	42
11. ひとり親家庭に対する必要な支援 -----	44
12. 自由意見 -----	45

I. 調査の概要

1. 調査目的

京都市では、子育て支援施策を推進するための基本的かつ総合的な計画で、計画期間が平成18年までである「京（みやこ）・子どもいきいきプラン（京都市児童育成計画）」を、平成16年度中に前倒しで見直し、「次世代育成支援対策推進法」第8条に規定される「市町村行動計画」として、平成17年度から平成21年度までの5年間を計画期間とする新たな次世代育成支援のための計画（新京（みやこ）・子どもいきいきプラン（仮称））を策定することとしています。

この計画策定に際し、子育て支援施策の展開の方向性を検討する基礎資料として活用するため、子育ての実態及び保育等の子育て支援サービスに対するニーズや利用状況などに関するアンケート調査を実施しました。

2. 調査方法等

	就学前児童調査	小学生児童調査
(1) 調査地域	京都市全域	
(2) 調査対象	市内在住の就学前児童 のいる世帯	市内在住の小学生児童 のいる世帯
(3) 対象数	6,466 世帯	5,534 世帯
	全体 12,000 世帯	
(4) 抽出方法	住民基本台帳データ及び外国人登録データから無作為抽出（平成16年2月末現在）	
(5) 調査方法	・就学前児童及び小学生児童用の2種類のアンケート票を郵送配布，郵送回収（はがきによる督促1回） ・無記名回答	
(6) 調査期間	平成16年3月31日（水）～平成16年4月12日（月）	

3. 調査内容

就学前児童調査	小学生児童調査
・調査対象の子どもと家族の状況	
・保育サービスなどの利用意向と利用状況	・学童クラブ事業などの利用意向と利用状況
・その他の保育サービスなどの利用状況	
・病気や緊急時の対応状況	
・保護者の就労状況及び子育てと仕事の両立に関する意向	
・子育てについて日頃感じていること	

・子どもの健康、事故・犯罪防止のための家庭での対策
・地域における子育て支援への意向
・子どもの遊び場や子育て環境
・自主活動、地域活動について
・子育て環境について
・少子化について

4. 回収結果

種 別	配布数	回収数	回収率
全 体	12,000	4,686	39.1%
就学前児童調査	6,466	2,620	40.5%
小学生児童調査	5,534	2,066	37.3%

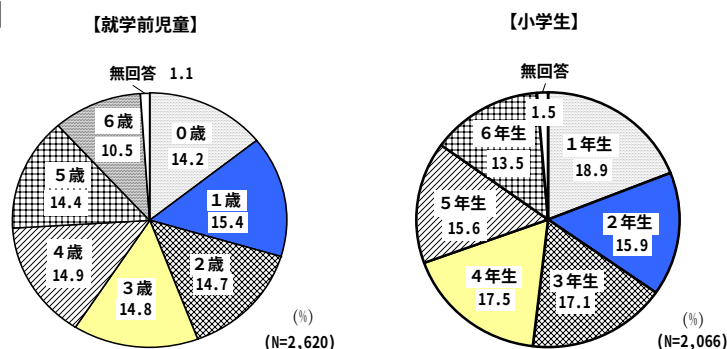
5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数(N)を基数として算出した。複数回答の設問は、全ての比率を合計すると、100.0%を超えることがある。
- (3) 各設問の指定の回答数について、図表中では次のように表記している。
- ・ M A% (Multiple Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A% (3 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 2 L A% (2 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合

II. 調査対象の子どもと家族の状況

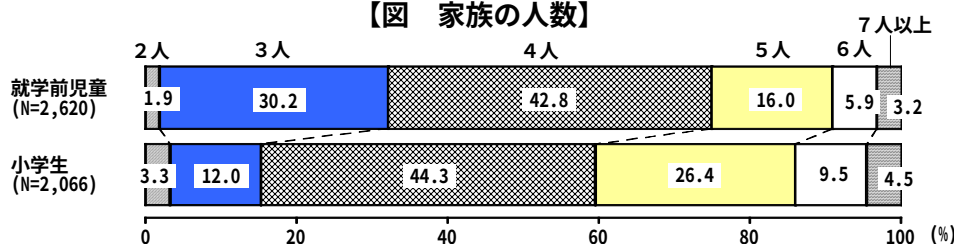
1. 子どもの年齢（学年）

【図 子どもの年齢（学年）】

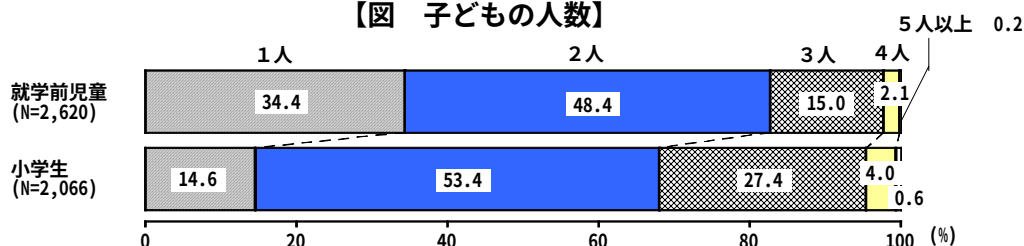


2. 家族・子どもの人数

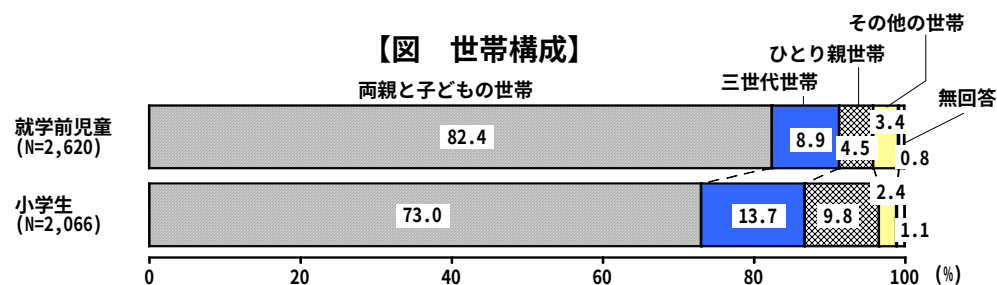
【図 家族の人数】



【図 子どもの人数】



【図 世帯構成】



※「三世帯世帯」には、母子・父子家庭のうち、祖父または祖母と同居している世帯を含んでいる。

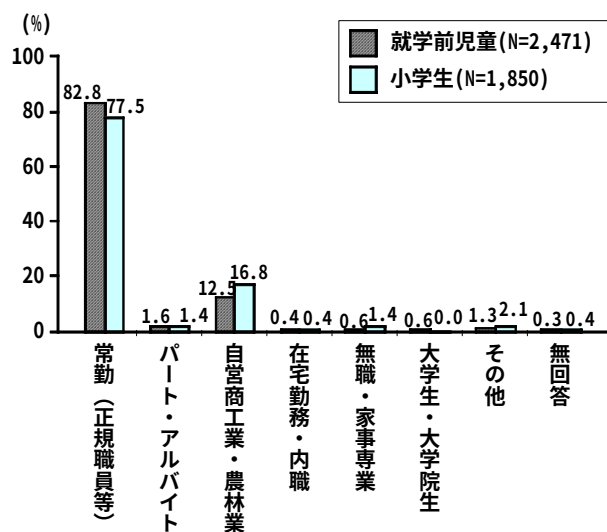
家族の人数は、就学前児童、小学生ともに「4人」が最も多いが、就学前児童では次いで「3人」(30.2%)、小学生では次いで「5人」(26.4%)の順となっている。

また、子どもの人数については、就学前児童の場合、「2人」(48.4%)、「1人」(34.4%)の順であるのに対し、小学生では「2人」(53.4%)、「3人」(27.4%)の順となっている。

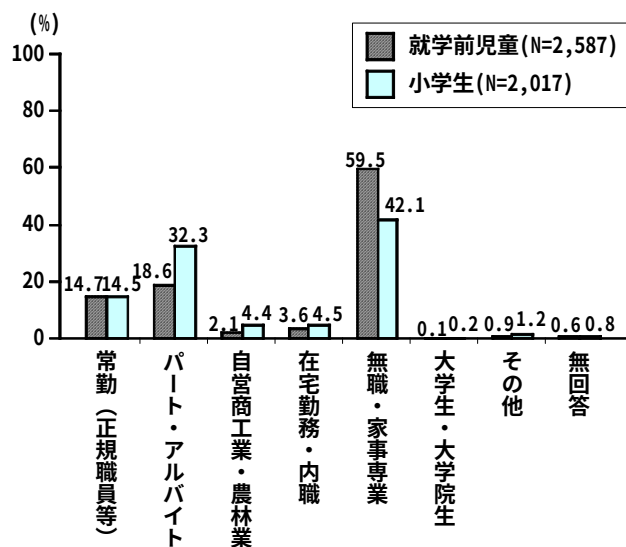
世帯構成をみると、就学前児童、小学生ともに「両親と子どもの世帯」が約73～82%と最も多く、「三世帯世帯」は、就学前児童で8.9%、小学生で13.7%であった。

3. 父母の就労状況

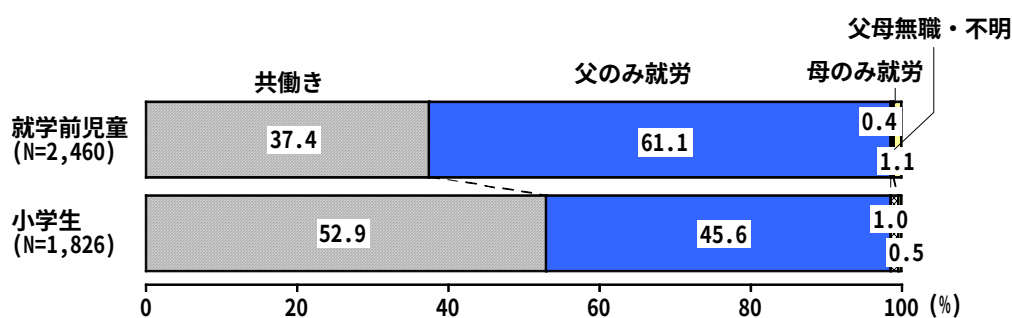
【図 父親の就労状況】



【図 母親の就労状況】



【図 親の就労状況】



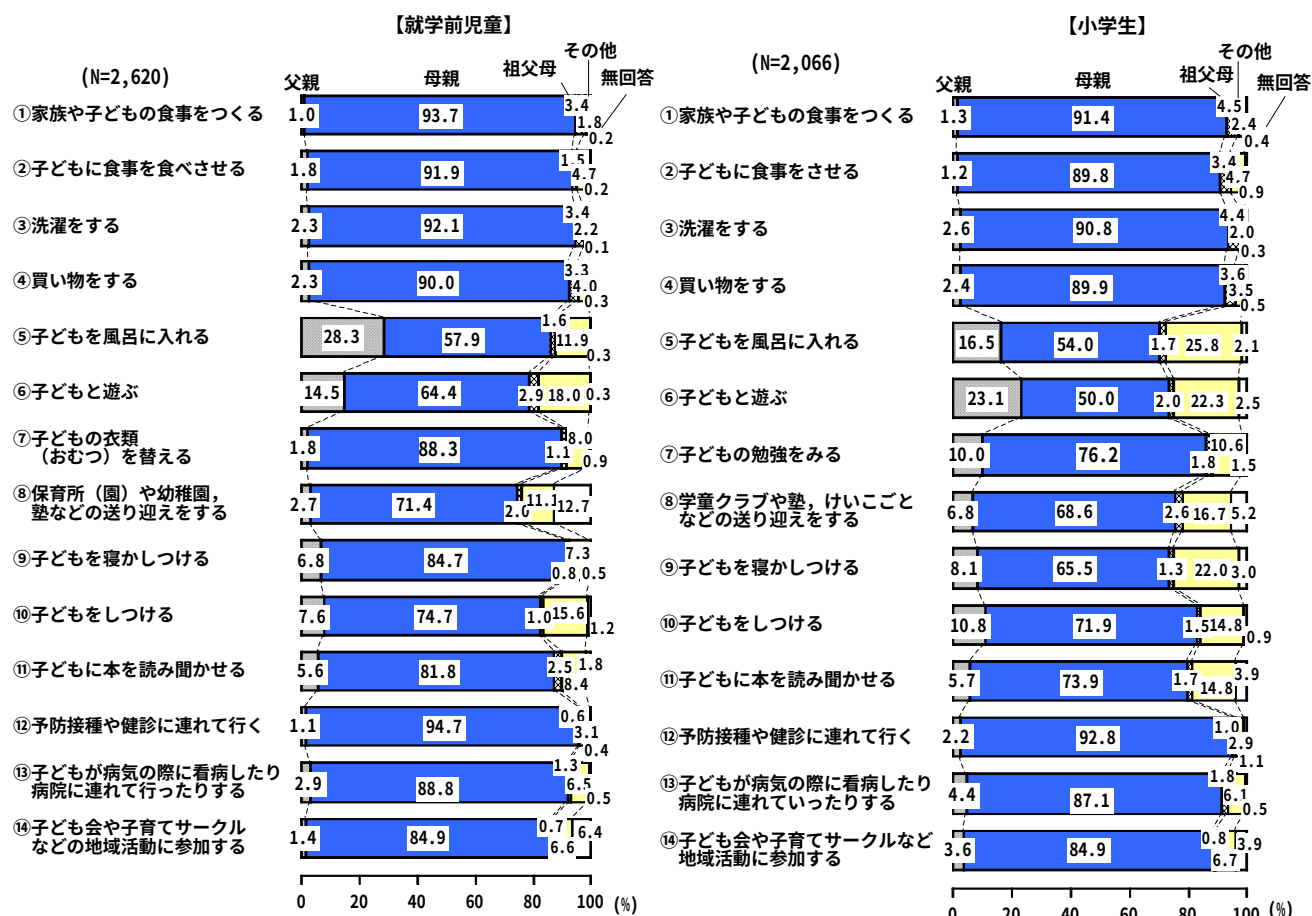
※母子・父子家庭を除く。

父親の就労状況をみると、就学前児童、小学生ともに約96～97%が就労しており、就労形態については「常勤（正規職員等）」が双方とも最も多く、次いで「自営商工業・農林業」であった。

母親の就労状況をみると、就学前児童で39.0%、小学生で55.7%が就労しており、就労形態については「パート・アルバイト」が双方とも最も多く、次いで「常勤（正規職員等）」であった。

4. 育児・家事を主にしている人

【図 育児・家事を主にしている人】



育児・家事を主にしている人について項目別にみると、就学前児童、小学生を問わず、全項目で「母親」が50～90%台を占めるが、『⑤子どもを風呂に入れる』『⑥子どもと遊ぶ』の2項目については「父親」が10～20%台と他の項目に比べて多くなっている。

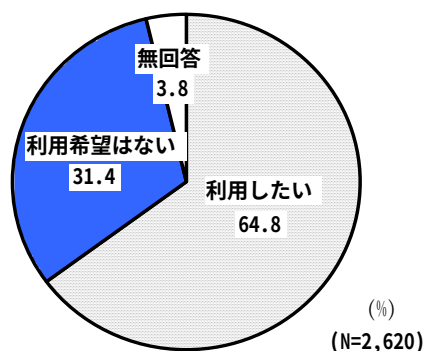
III. 調査結果

1. 子育て支援施策・サービスの利用意向と利用状況

(1) 保育サービスなどの利用意向 [平日]

問 平日（月～金）に、あて名のお子さんについて、「保育所・幼稚園などの子育て支援施策や子育て支援サービス」（一時的な利用は除きます）の利用を希望しますか。（現在の利用の有無に関係なくお答えください）

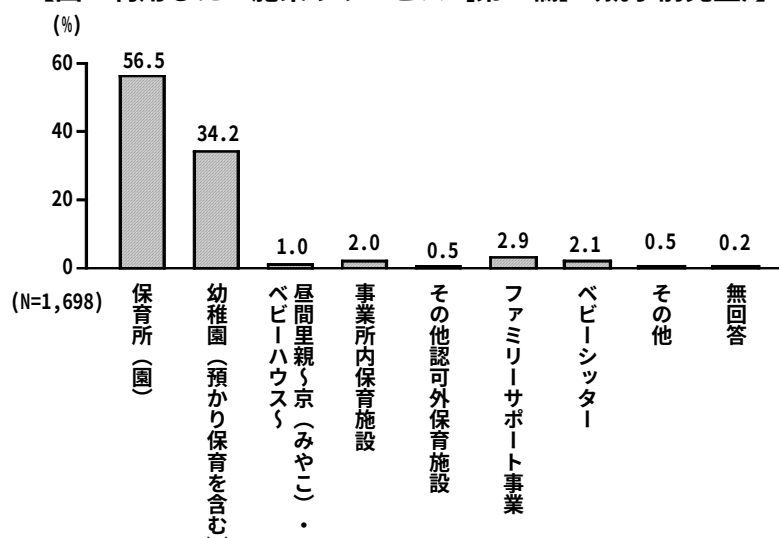
【図 保育サービスなどの利用意向（就学前児童）】



平日に、保育サービスなどを利用したい人は64.8%である。

● どのような施策やサービスを希望しますか。最も利用したい施策あるいはサービス1つに○をつけてください。

【図 利用したい施策やサービス [第1欄]（就学前児童）】

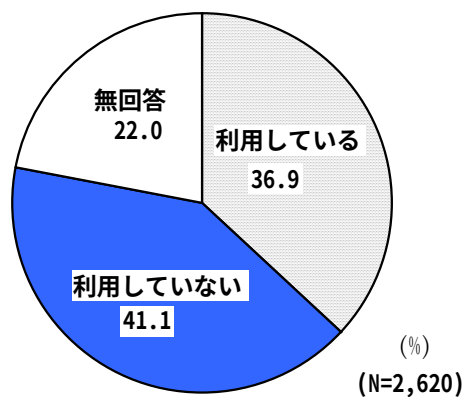


平日に利用したい施策やサービスの種類をたずねたところ、「保育所（園）」が56.5%と過半数を占め、次いで「幼稚園（預かり保育を含む）」が34.2%となっている。

(2) 保育サービスなどの利用状況 [平日]

問 平日に、あて名のお子さんは保育所・幼稚園などの保育や子育て支援サービスを利用していますか。

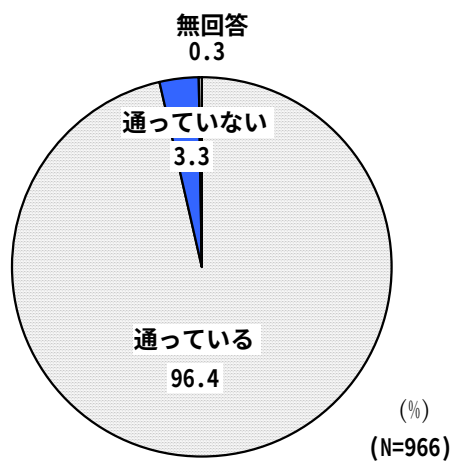
【図 保育サービスなどの利用状況（就学前児童）】



平日に、保育サービスなどを利用している人は 36.9%である。

問 現在、あて名のお子さんは、平日に保育所（園）、幼稚園、昼間里親に通っていますか。

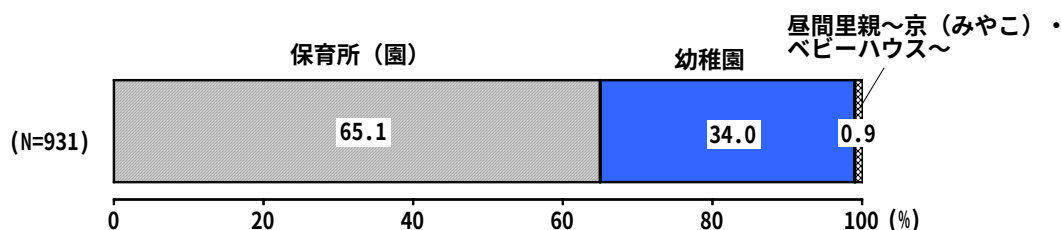
【図 保育所（園）、幼稚園、昼間里親の利用状況（就学前児童）】



平日の保育サービスなどの利用者のうち、保育所（園）、幼稚園、昼間里親の利用は 96.4%を占めている。

● 通っている先はどちらですか。

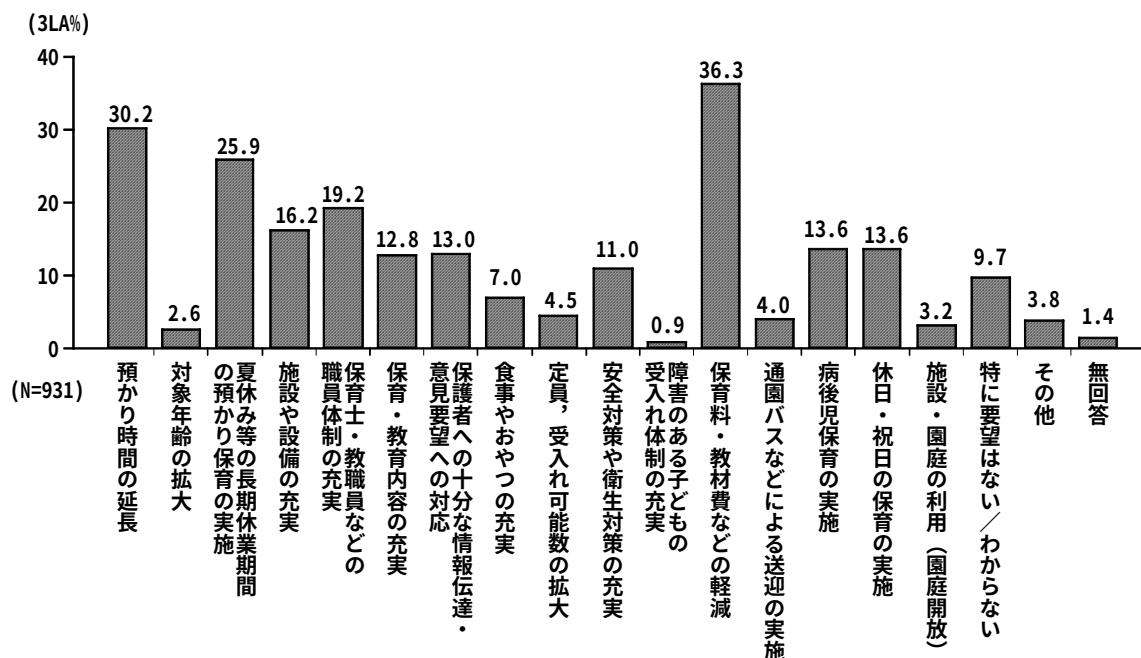
【図 利用している施設の種類（就学前児童）】



平日に利用している施設の種類をみると、「保育所（園）」が 65.1%、「幼稚園」が 34.0% となっている。

● 現在、お子さんが通っている保育施設や幼稚園に関してどのような要望をお持ちですか。主な要望を3つまで選んで○をつけてください。

【図 利用している保育施設や幼稚園に関する要望（就学前児童）】



現在利用している保育施設・幼稚園に対する要望をみると、「保育料・教材費などの軽減」が 36.3%と最も多く、次いで「預かり時間の延長」30.2%、「夏休み等の長期休業期間の預かり保育の実施」25.9%と、預かり時間の拡充に関することが多い。

(3) 保育サービスなどの利用意向〔休日〕

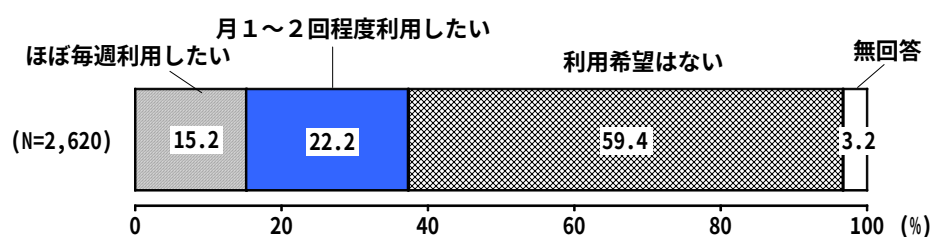
【すべての方におうかがいします】

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育所・幼稚園などの保育や子育て支援サービス（一時的な利用は除きます）の利用を希望されますか。

【土曜日の利用希望について】

● 土曜日の利用を希望しますか。1つ選んで○をつけてください。

【図 土曜日の利用希望（就学前児童）】

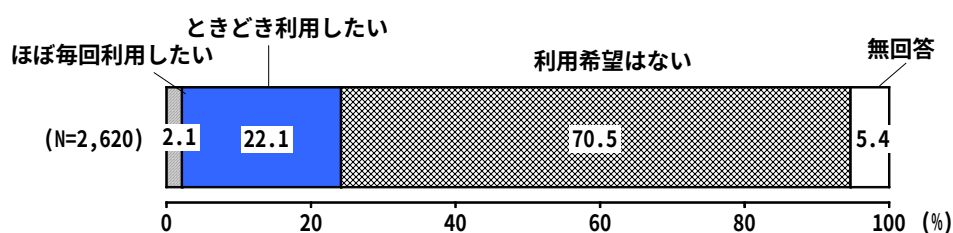


土曜日に保育サービスなどを利用したい人は 37.4%（「ほぼ毎週利用したい」15.2%、「月1～2回程度利用したい」22.2%）となっている。

【日曜日・祝日の利用希望について】

● 日曜日・祝日の利用を希望しますか。1つ選んで○をつけてください。

【図 日曜日・祝日の利用希望（就学前児童）】

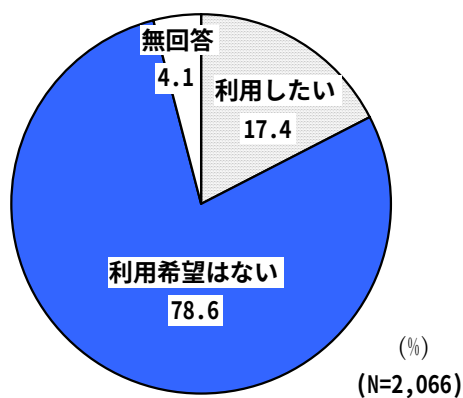


日曜日・祝日に保育サービスなどを利用したい人は 24.2%（「ほぼ毎回利用したい」2.1%、「ときどき利用したい」22.1%）となっている。

(4) 学童クラブ事業などの利用意向

問 平日に、あて名のお子さんについて、「預かり型の子育て支援施策や子育て支援サービス」（一時的な利用は除きます）の利用を希望しますか。（現在の利用の有無に関係なくお答えください）

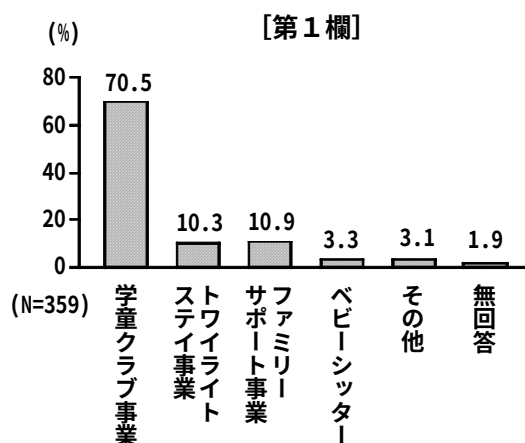
【図 学童クラブ事業などの利用意向（小学生）】



学童クラブ事業などを利用したい人は17.4%である。

● どのような施策やサービスを希望しますか。最も利用したい施策あるいはサービス1つに○をつけてください。

【図 利用したい施策やサービス（小学生）】

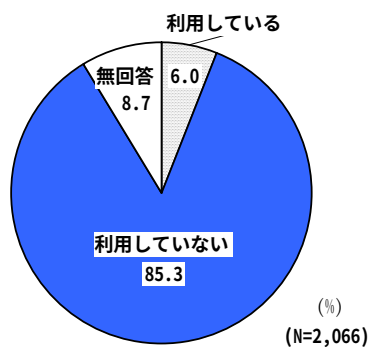


平日に利用したいサービスの種類をたずねたところ、「学童クラブ事業」が70.5%を占め、「ファミリーサポート事業」「トワイライトステイ事業」が約10%ずつとなっている。

(5) 学童クラブ事業などの利用状況

問 平日に、あて名のお子さんは学童クラブ事業などの預かり型の子育て支援施策や子育て支援サービスを利用していますか。

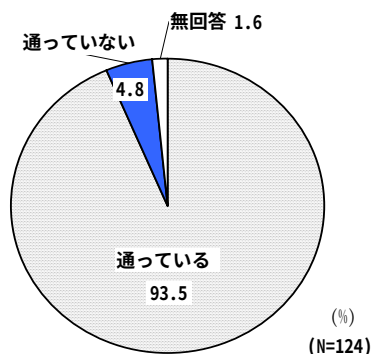
【図 学童クラブなどの利用状況（小学生）】



平日に学童クラブ事業などを利用している人は、全体の 6.0% となっている。

問 現在、あて名のお子さんは、学童クラブに通っていますか。

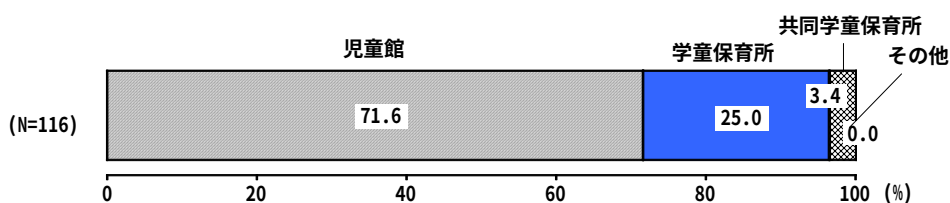
【図 学童クラブの利用状況（小学生）】



平日に施策やサービスを利用している人のうち、学童クラブ事業の利用が 93.5% を占めている。

● 通っている先はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

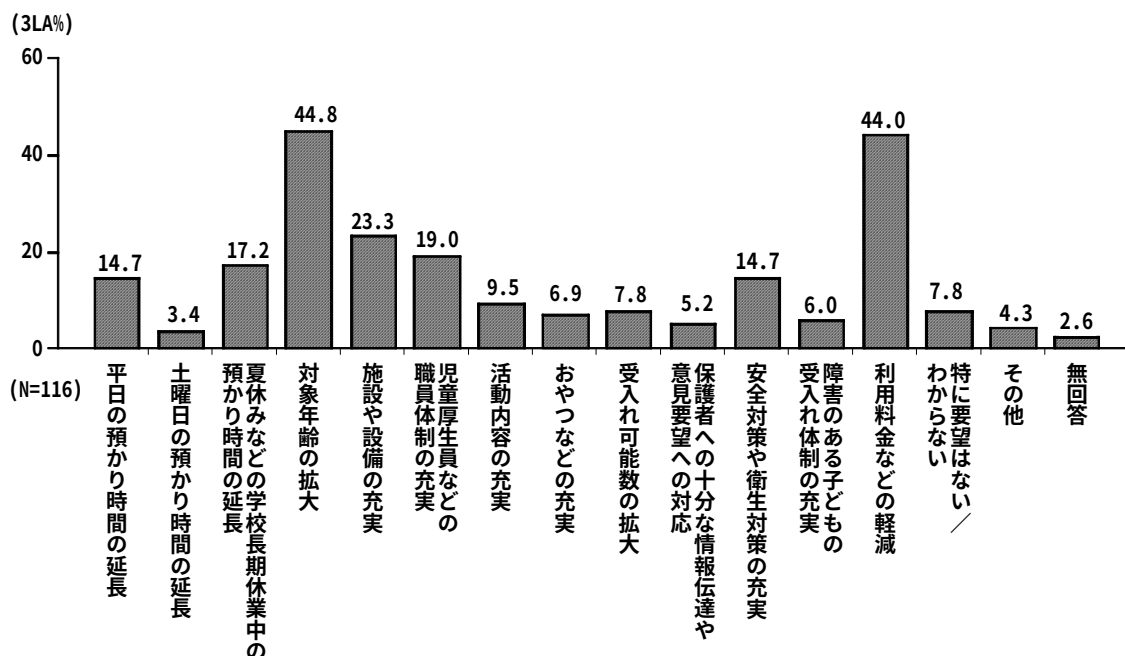
【図 利用している施設の種類の種類（小学生）】



学童クラブで通っている先は、「児童館」が 71.6%、「学童保育所」が 25.0%、「共同学童保育所」が 3.4% となっている。

- 現在、お子さんが通っている学童クラブに関してどのような要望をお持ちですか。主な要望を3つまで選んで○をつけてください。

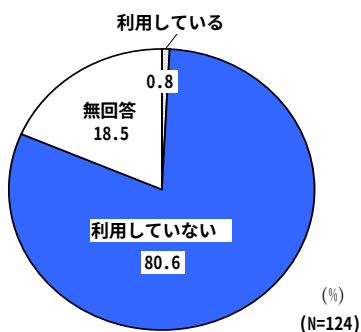
【図 利用している学童クラブに関する要望（小学生）】



現在通っている学童クラブに対する要望をみると、「対象年齢の拡大」（44.8％）と「利用料金などの軽減」（44.0％）がともに4割以上と多く、次いで「施設や設備の充実」が23.3％の順となっている。

問 現在、あて名のお子さんは、平日にトワイライトステイ事業を継続的（毎週何曜日といった頻度で）に利用していますか。

【図 トワイライトステイ事業の利用状況（小学生）】



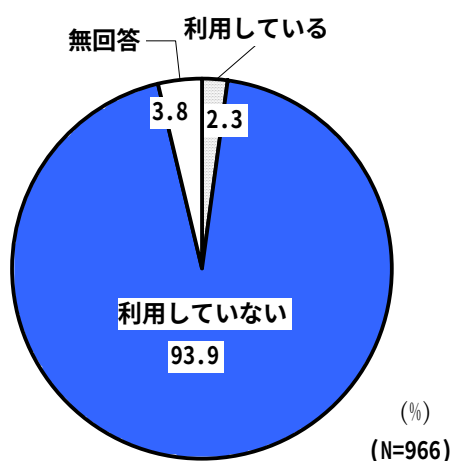
平日に施策や支援サービスを利用している人のうち、トワイライトステイ事業の利用は0.8％となっている。

(6) その他の保育サービスなどの利用状況

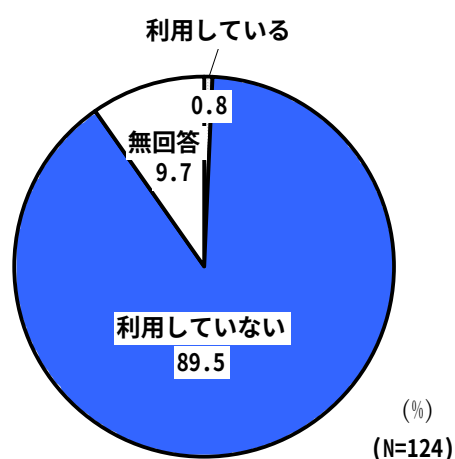
問 現在、あて名のお子さんは、平日にファミリーサポート事業、ベビーシッターなどを利用していますか。

【図 ファミリーサポート事業、ベビーシッターなどの利用状況】

【就学前児童】



【小学生】

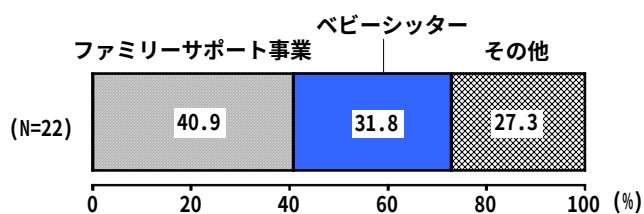


平日に施策やサービスを利用している人のうち、ファミリーサポート事業、ベビーシッターなどを利用している人は、就学前児童で2.3%、小学生で0.8%となっている。

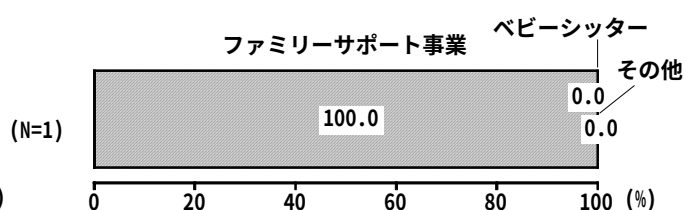
● 利用しているサービスは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。

【図 利用しているサービス】

【就学前児童】



【小学生】



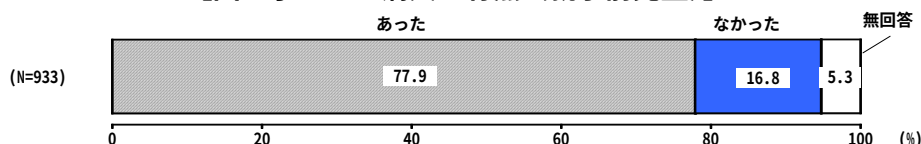
利用している保育サービスの種類は、就学前児童（22人）では「ファミリーサポート事業」が40.9%、「ベビーシッター」が31.8%、小学生（1人）では「ファミリーサポート事業」となっている。

2. 病気や緊急時の対応状況

(1) 子どもの病時の預かりについて

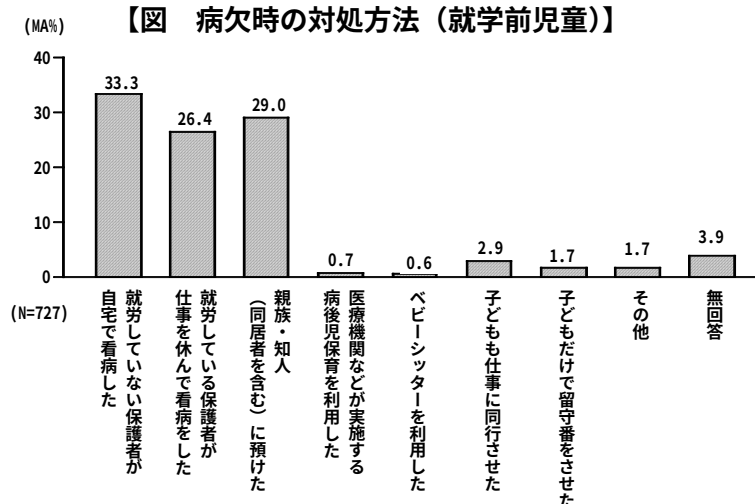
【現在、保育所（園）、幼稚園、昼間里親、その他認可外保育施設を利用されている方におうかがいします】
 問 この1年間に、あて名のお子さんが病気や病気の回復期であるために、保育所（園）、幼稚園、昼間里親、その他認可外保育施設を休んだことがありましたか。

【図 子どもの病欠の有無（就学前児童）】



この1年間に子どもが病気で保育施設を休んだことが「あった」人は、全体の77.9%を占める。

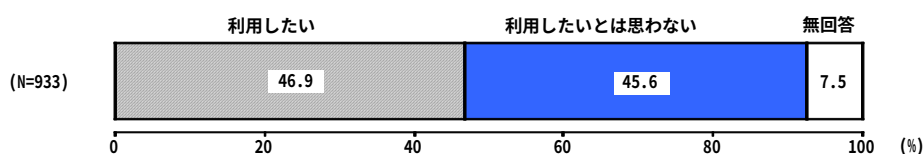
【図 病欠時の対処方法（就学前児童）】



子どもの病欠時の対処方法をみると、「就労していない保護者が自宅で看病した」(33.3%)、「親族・知人（同居者を含む）に預けた」(29.0%)、「就労している保護者が仕事を休んで看病した」(26.4%)と回答が分かれています。

● あて名のお子さんが病気や病気回復期にあるとき、預かってくれる施設があれば利用を希望されますか。

【図 病後児保育の利用意向（就学前児童）】



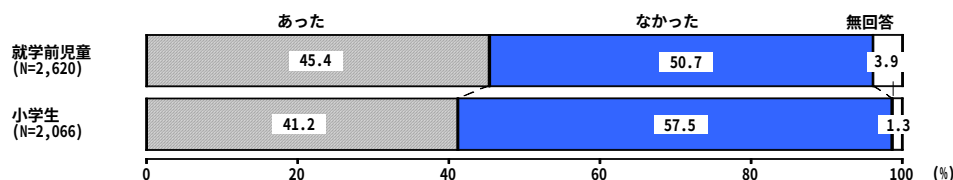
子どもが病気や病気回復期に預かってくれる施設の利用意向については、「利用したい」が46.9%となっている。

(2) 緊急時などの日中の一時預かりについて

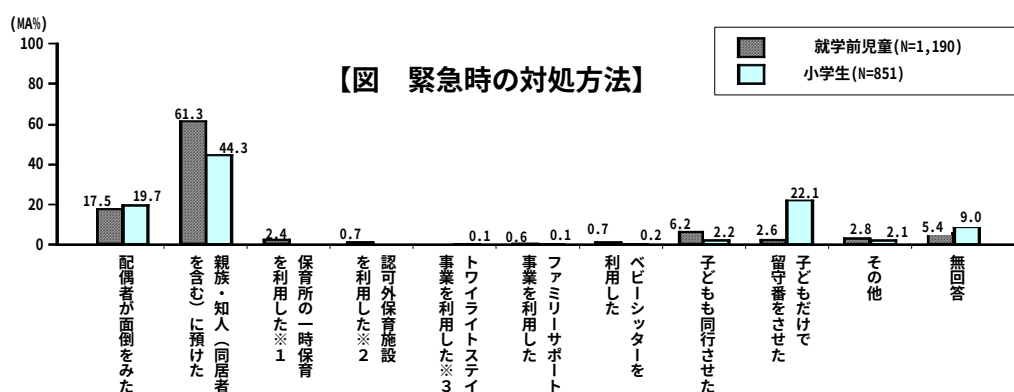
【すべての方におうかがいします】

問 この1年間に、平日／休日に関係なく、緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で、あて名のお子さんの面倒を普段みている方が、日中（宿泊を伴わない時間帯）に面倒をみられなくなったことはありましたか。

【図 緊急の用事で子どもの面倒がみられなくなったことの有無】



この1年間に緊急の用事で子どもの面倒を見られなくなったことが「あった」人は、就学前児童の保護者で45.4%、小学生の保護者で41.2%となっている。

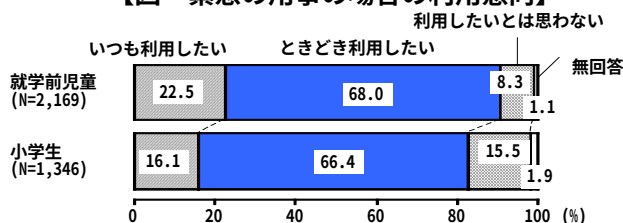


※1 小学生の選択肢には「保育所の一時保育を利用した」はない。
 ※2 小学生の選択肢には「認可外保育施設を利用した」はない。
 ※3 就学前児童の選択肢には「トワイライトステイ事業を利用した」はない。

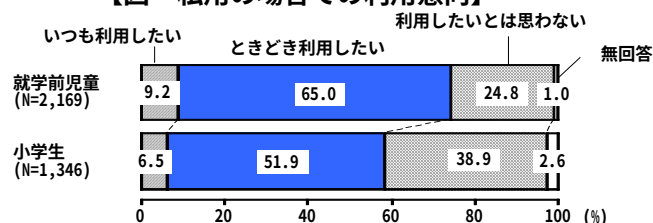
緊急時の対処方法をみると、就学前児童の保護者では「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が61.3%と最も多く、次いで「配偶者が面倒をみた」（17.5%）となっている。また、小学生の保護者でも「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が44.3%と最も多いが、「子どもだけで留守番させた」が22.1%と、2番目に多くなっている。

● 一時保育サービスなどをどの程度利用したいと思いますか。緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）と私用（美容院、習い事、趣味の活動など）の別に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

【図 緊急の用事の場合の利用意向】



【図 私用の場合での利用意向】

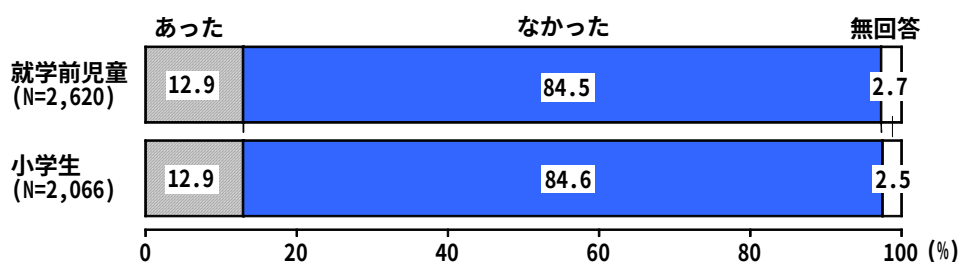


日中の一時保育サービスの利用について、「いつも利用したい」または「ときどき利用したい」の割合をみると、就学前児童、小学生の保護者ともに、緊急の用事の場合で80～90%台、私用の場合で60～70%台となっている。

(3) 宿泊を伴う預かりについて

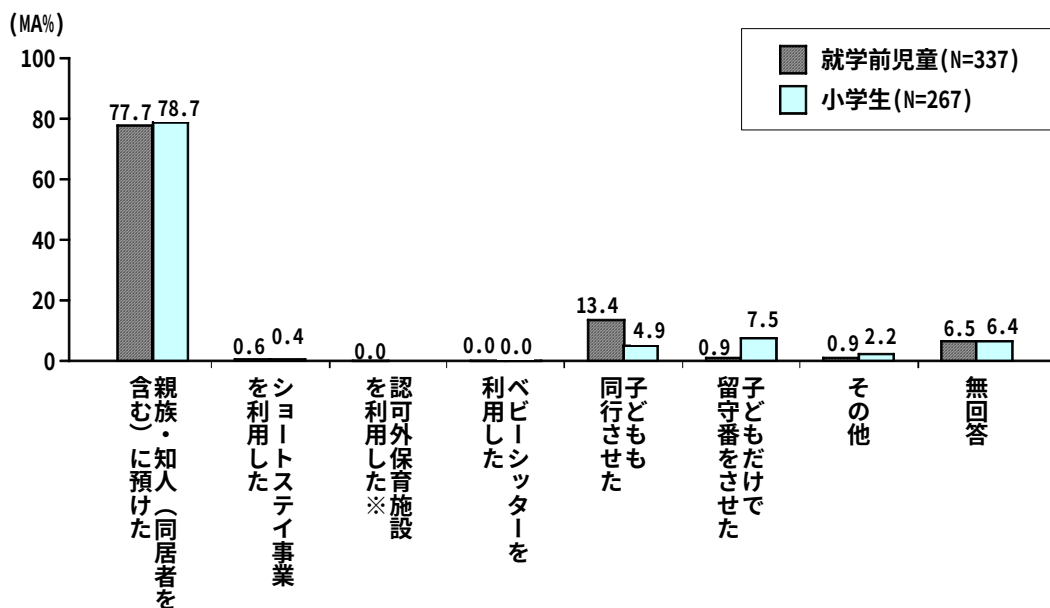
問 この1年間に、保護者が用事などで泊りがけで外出し、あて名のお子さんを同伴するのが困難なことはありましたか。

【図 泊りがけの外出で子どもを同伴するのが困難だったことの有無】



この1年間に、保護者が用事などで泊りがけで外出し、子どもを同伴するのが困難なことが「あった」人は、就学前児童、小学生の保護者ともに12.9%となっている。

【図 泊りがけの外出時の対処方法】



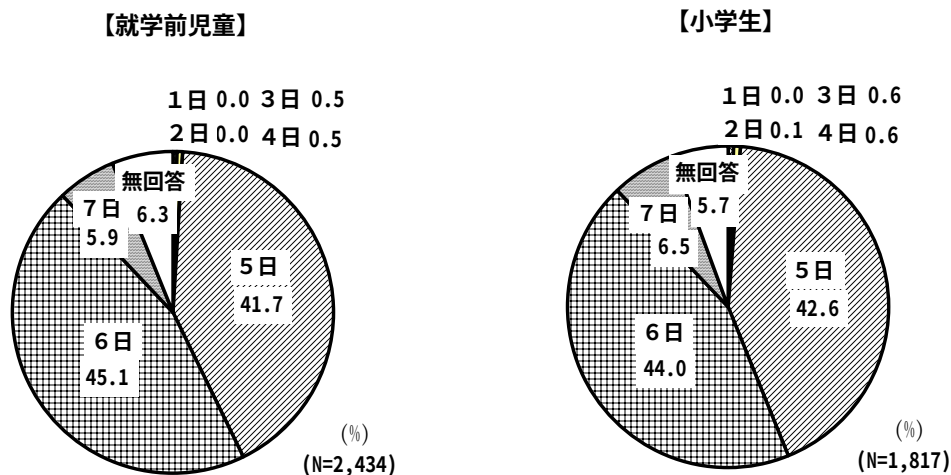
※ 小学生の選択肢には「認可外保育施設を利用した」はない。

泊りがけで外出した時の対処方法をみると、就学前児童、小学生の保護者ともに「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が80%近くを占める。また、就学前児童の保護者では「子どもも同行させた」が13.4%、小学生の保護者では「子どもだけで留守番させた」が7.5%みられる。

3. 保護者の就労状況及び子育てと仕事の両立に関する意向

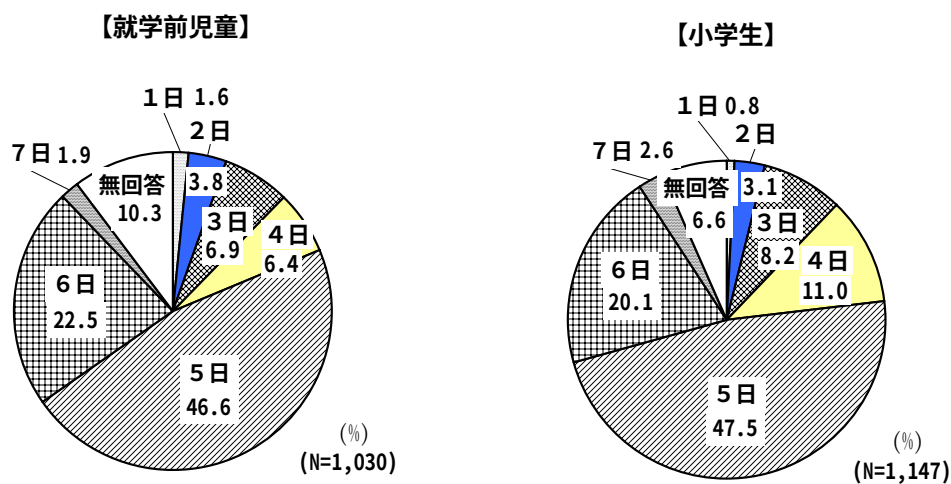
(1) 保護者の就労状況

【図 父親の就労日数／週】



父親の就労日数をみると、就学前児童、小学生ともに「6日」が約44～45%と最も多く、次いで「5日」が40%強となっている。

【図 母親の就労日数／週】



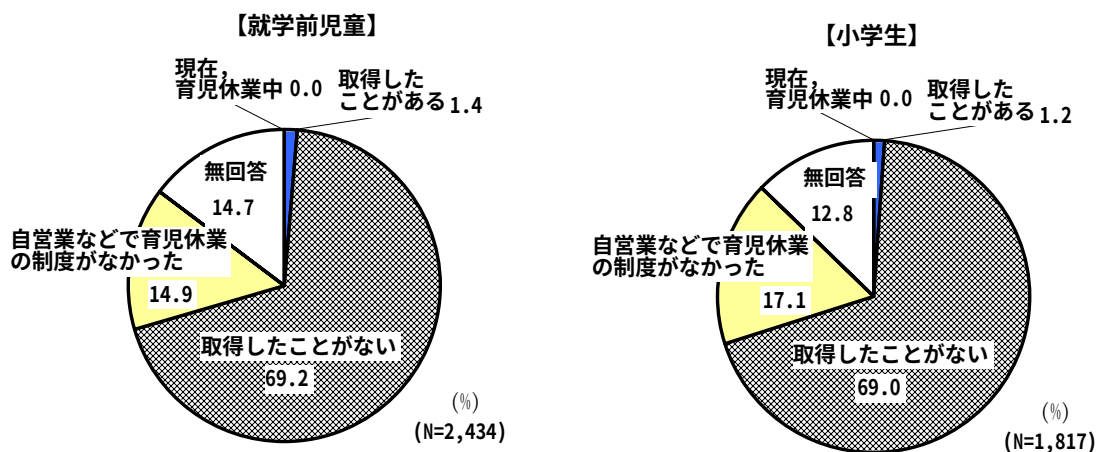
母親の就労日数をみると、就学前児童、小学生ともに「5日」が約47～48%と最も多く、次いで「6日」が20%強となっている。

(2) 育児休業の取得状況

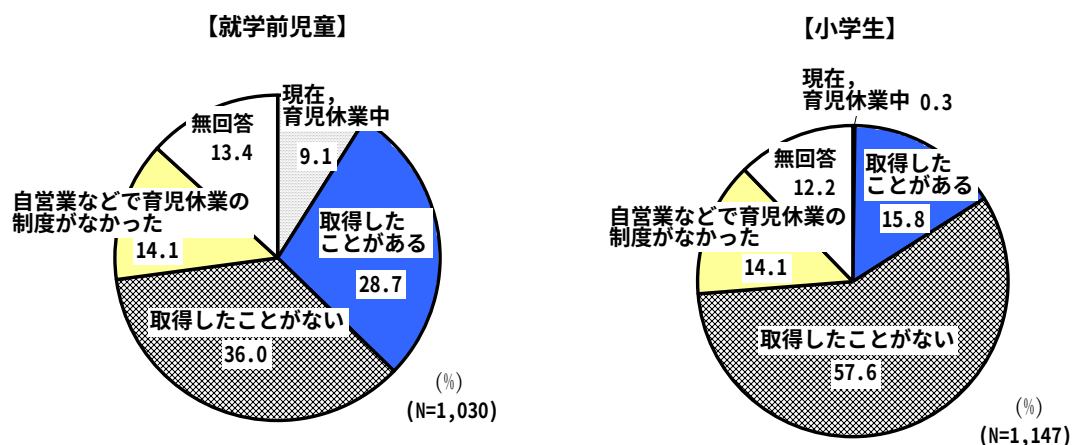
【現在、就労されている保護者の方についておうかがいします】

問 育児休業の取得状況を父親、母親別にお答えください。

【図 父親の育児休業の取得状況】



【図 母親の育児休業の取得状況】



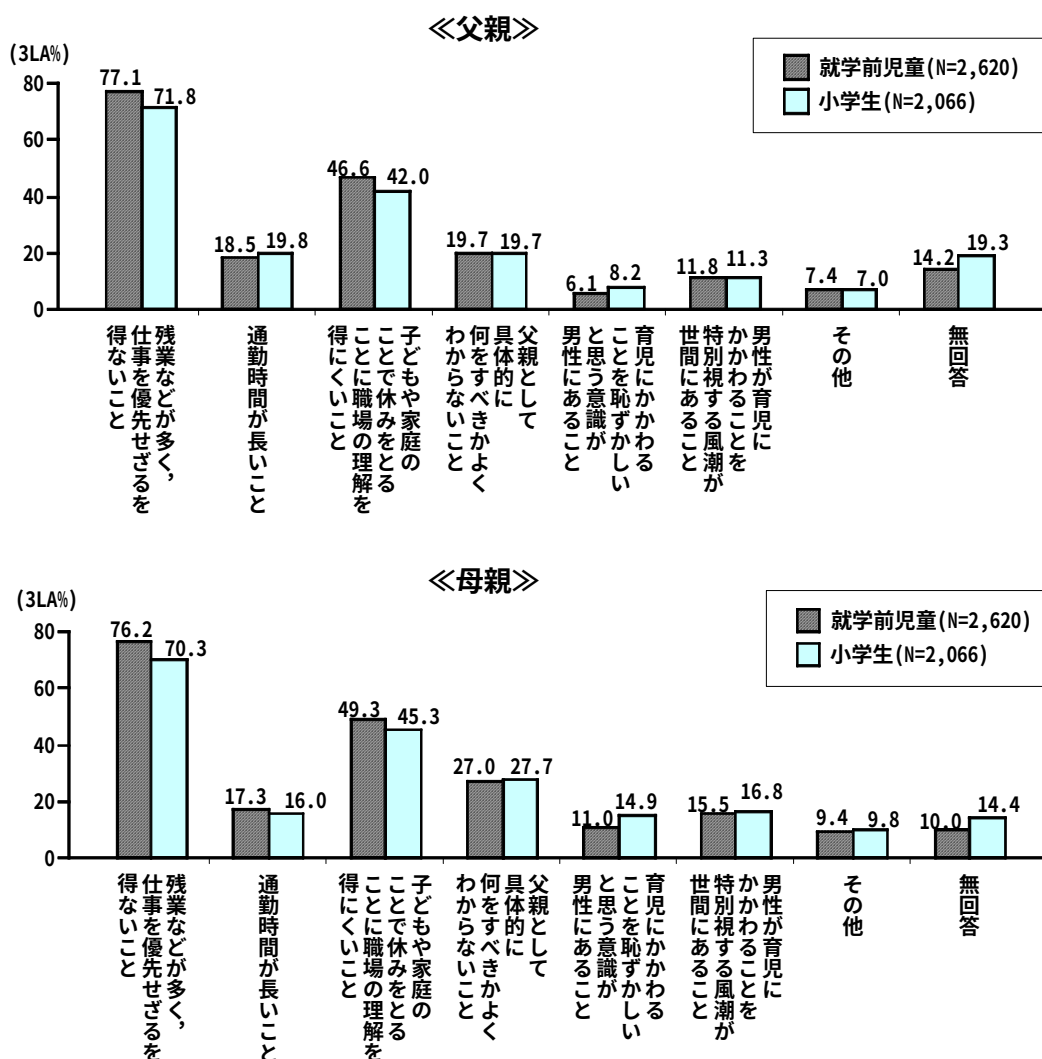
父親の育児休業の取得割合は、就学前児童の父親で 1.4%、小学生の父親で 1.2%にすぎず、「取得したことがない」がいずれも約 70%を占める。また、母親の育児休業の取得状況を見ると、「現在、育児休業中」または「取得したことがある」の割合は、就学前児童の母親で 37.8%、小学生の母親では 16.1%となっている。

(3) 父親が子育てにかかわりづらい理由

【すべての方におうかがいします】

問 近年、子育て中の家庭での父親不在（父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないこと）が問題となっていますが、父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。父親、母親別に、あてはまるとされるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 父親が子育てにかかわりづらい理由】



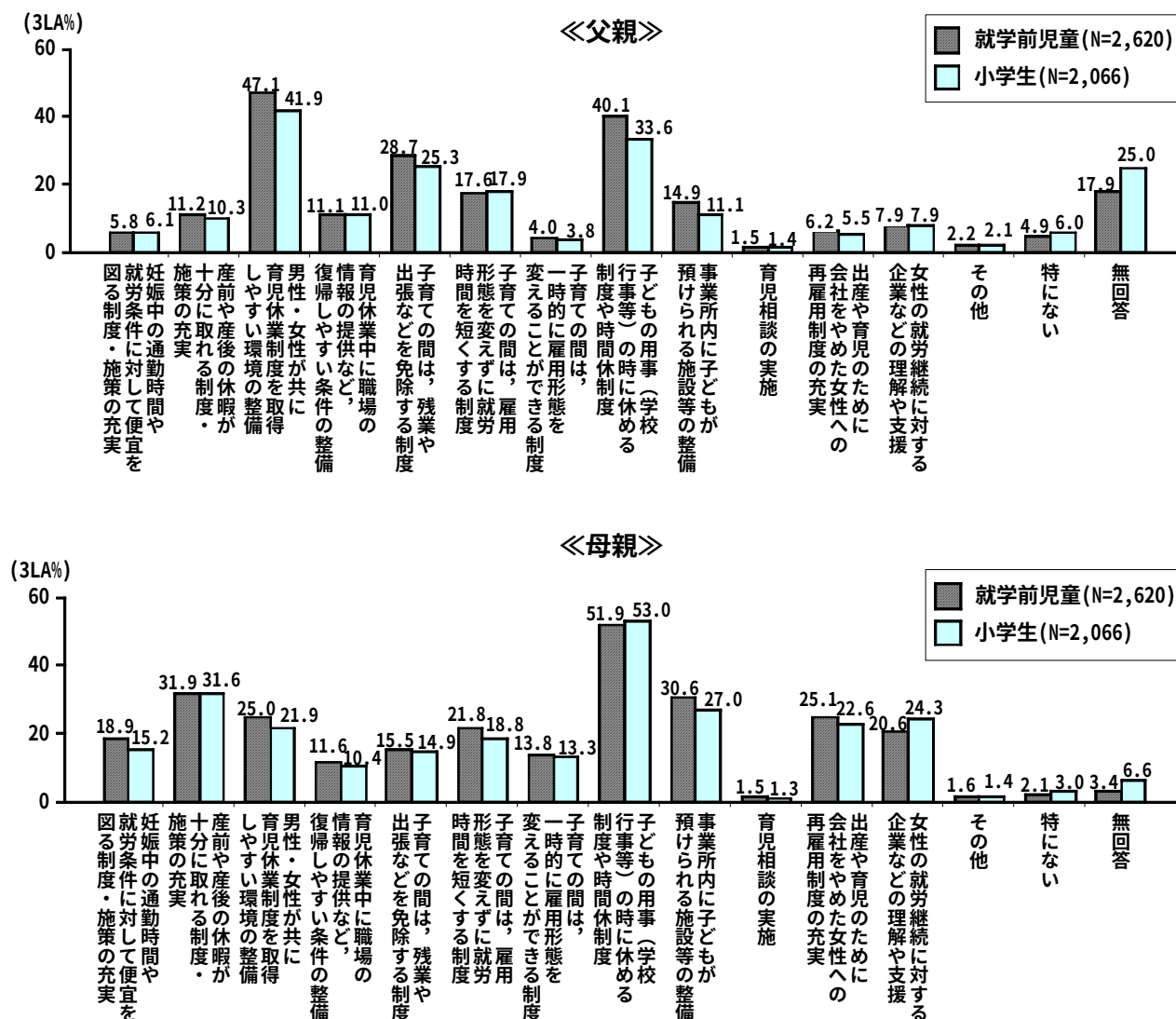
父親が子育てにかかわりづらい理由をたずねたところ、父親の回答としては、就学前児童、小学生とも「残業などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が70%台と最も多く、次いで「子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと」が40%台となっている。母親の回答をみると、上位2項目については父親と同様の回答傾向がみられる一方で、「父親として具体的に何をすべきかわからないこと」が30%近くになっており、また、「男性が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること」「育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること」の2項目についても、父親よりも回答が相対的に多くなっている。

(4) 子育てと仕事の両立に関する意向

【すべての方におうかがいします】

問 子育てと仕事の両立を支援していくため、どのような制度や支援策を企業等に取り組んでほしいと思いますか。父親、母親別に、あてはまると思われるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 子育てと仕事の両立のため必要な支援策】



子育てと仕事のために必要な制度や支援策について父親にたずねたところ、就学前児童、小学生ともに「男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が40%を超え最も多く、次いで「子どもの用事(学校行事等)の時に休める制度や時間休制度」「子育ての間は、残業や出張などを免除する制度」などが多くなっている。

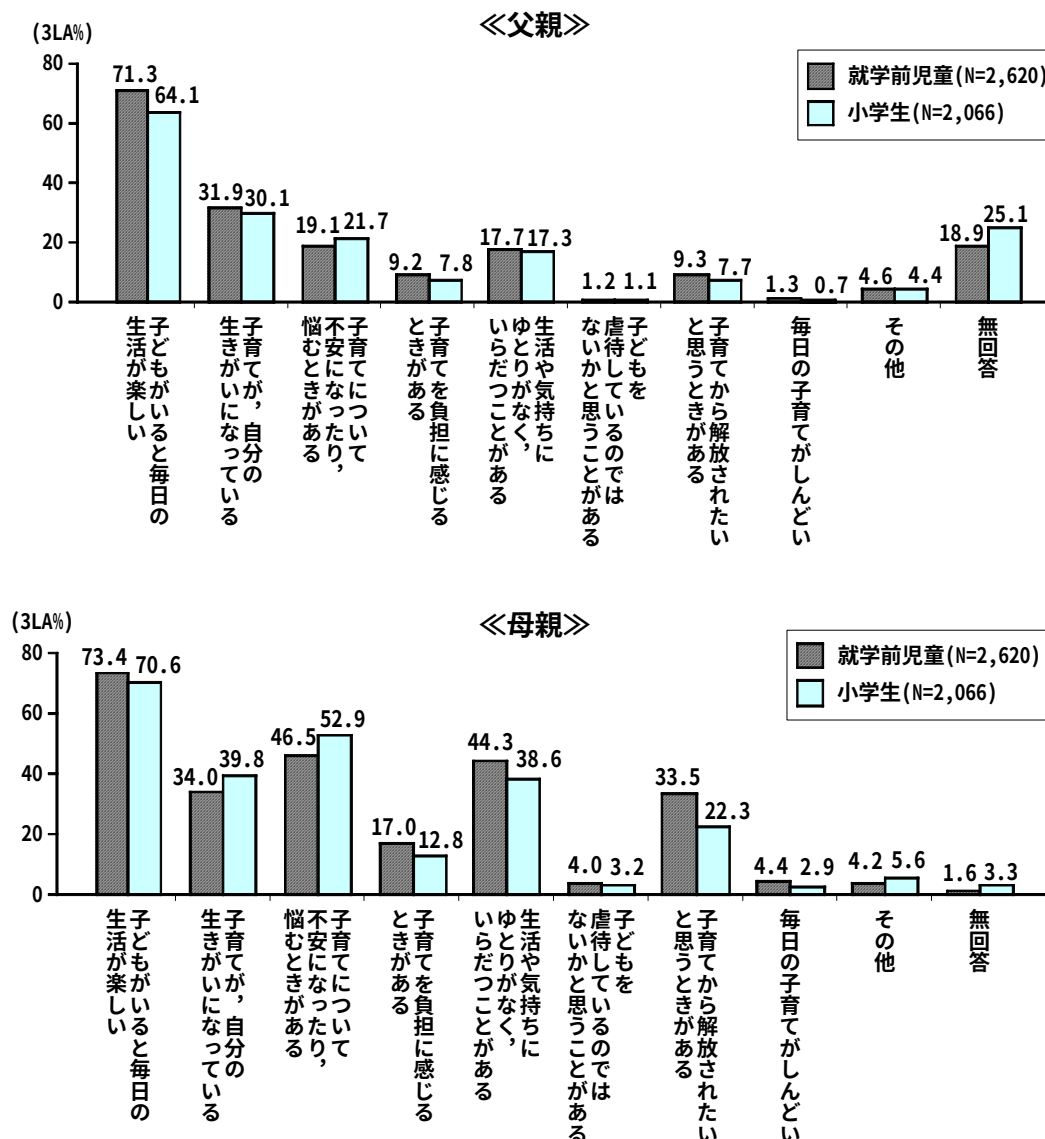
同様に母親の回答をみると、就学前児童、小学生ともに「子どもの用事(学校行事等)の時に休める制度や時間休制度」が50%を超え最も多く、次いで「産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実」「事業所内に子どもが預けられる施設等の整備」などが多くなっている。

4. 子育てについて日頃感じていること

(1) 子育てについての気持ち

問 子育てをしている今の気持ちはどんな気持ちですか。父親、母親別に、あてはまると思われるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 子育てについての気持ち】

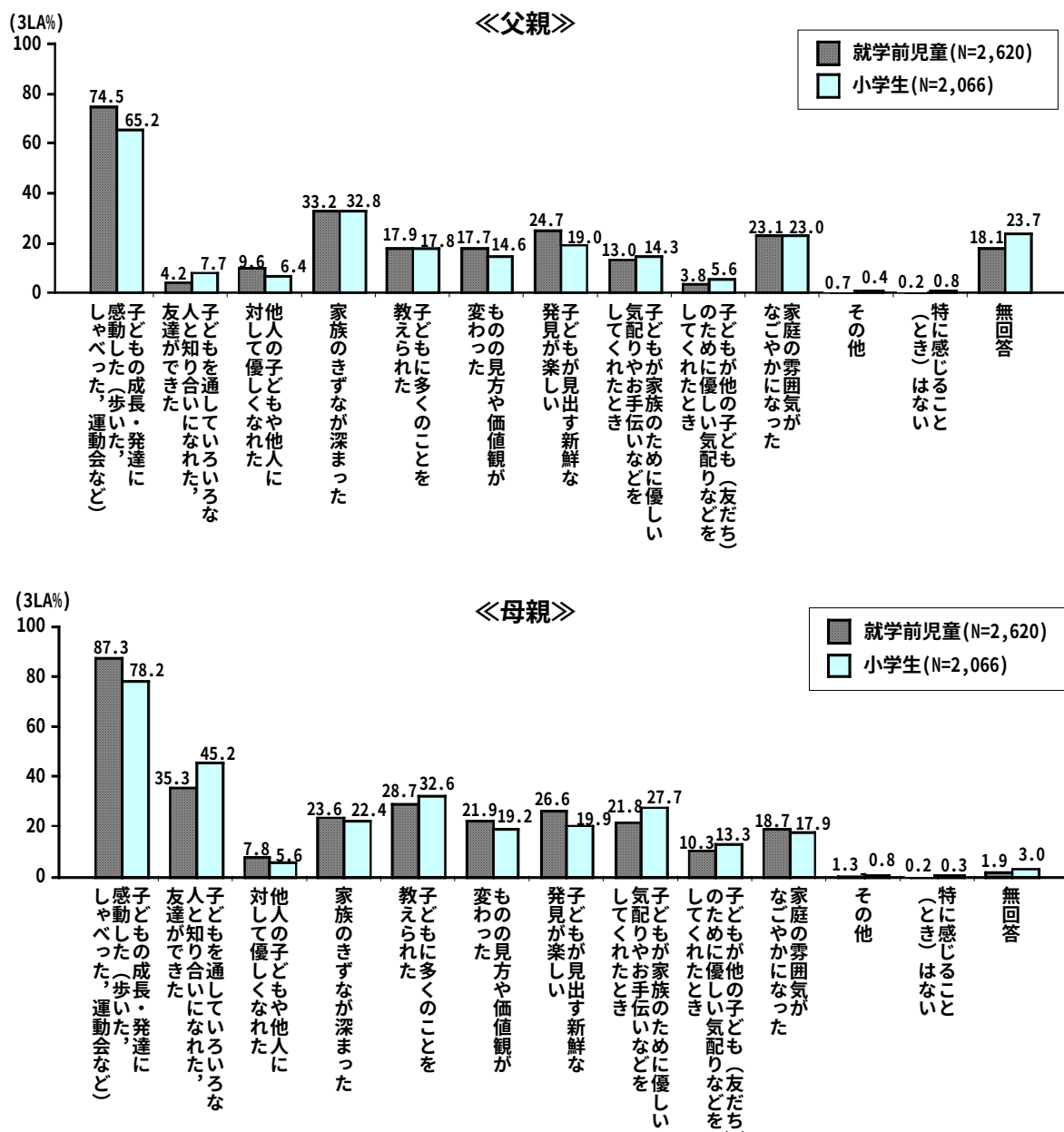


父親の子育てに対する現在の気持ちをみると、就学前児童、小学生ともに「子どもがいて毎日の生活が楽しい」が60～70%台と最も多く、次いで「子育てが、自分の生きがいになっている」が30%強となっている。

母親の回答についても、父親同様、就学前児童、小学生ともに「子どもがいて毎日の生活が楽しい」が70%台と最も多いが、「子育てについて不安になったり、悩むときがある」「生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」「子育てから解放されたいと思うときがある」などの項目について、いずれも父親よりも割合が高くなっている。

問 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じることを、感じるときはどのようなこと（とき）ですか。父親、母親別に、あてはまると思われるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 子育てが楽しい、良かったと感じる時】



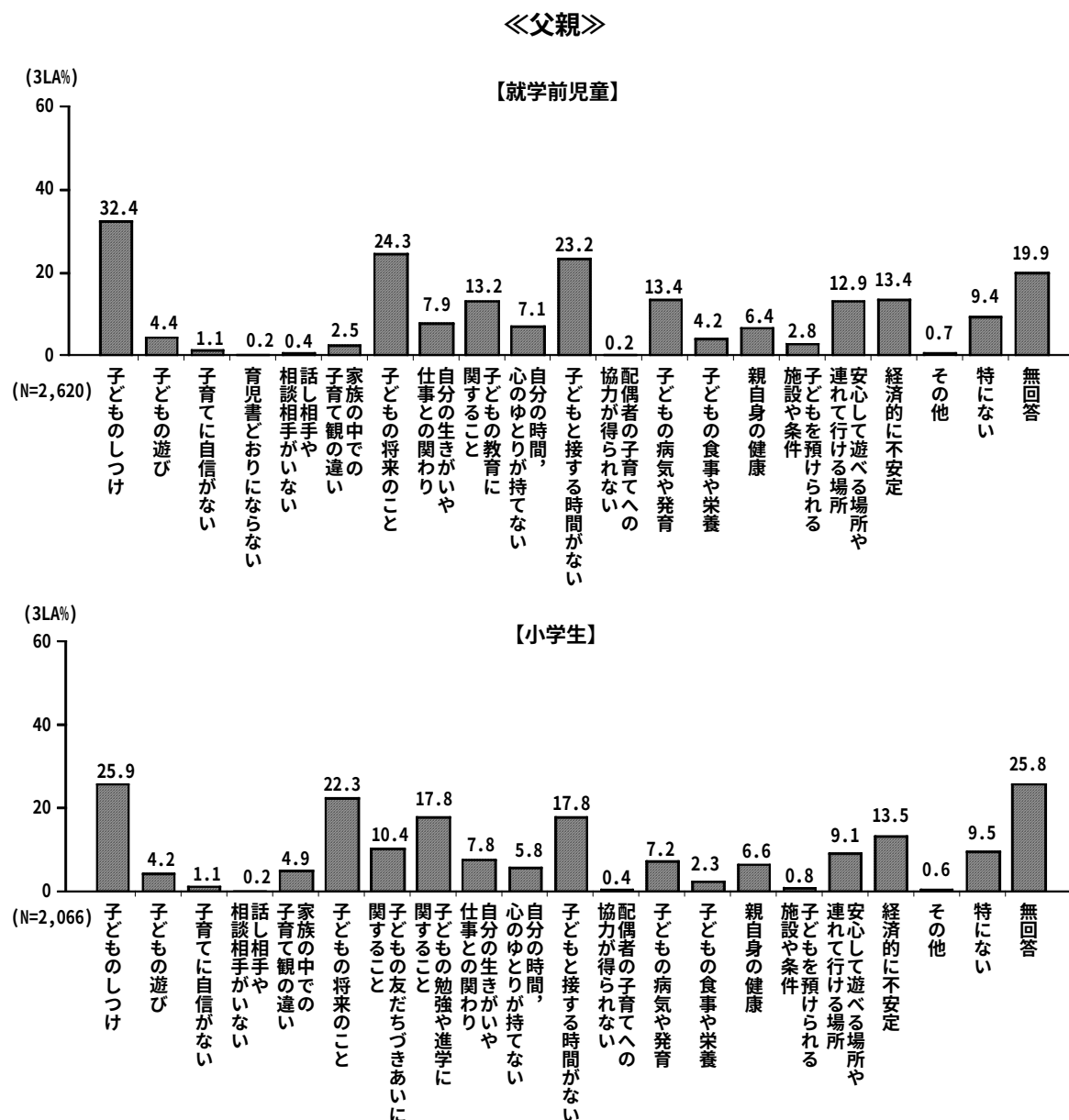
子育てをしていて「楽しい」「良かった」と感じることを（とき）について、父親の回答を、就学前児童、小学生ともに「子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会など）」が60～70%台と最も多く、次いで「家族のきずなが深まった」が約33%となっている。

母親の回答についても、父親同様、就学前児童、小学生ともに「子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会など）」が最も多いが、次いで「子どもを通していろいろな人と知り合いになれば、友達が出来た」が就学前児童 35.3%、小学生 45.2%と、いずれも父親より割合が高くなっている。

(2) 子育てについての悩み、不安

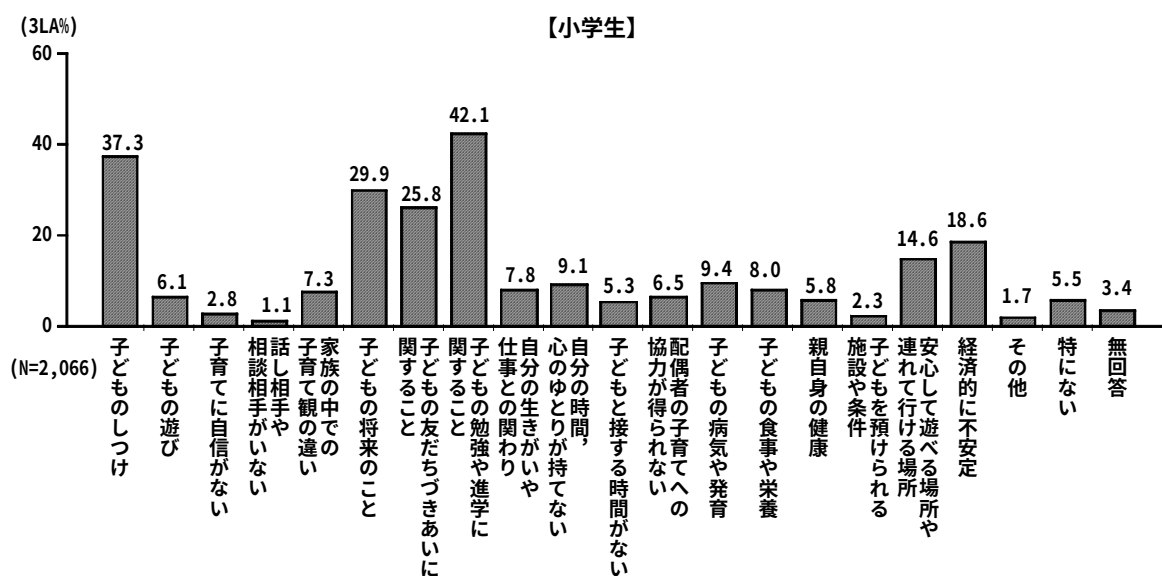
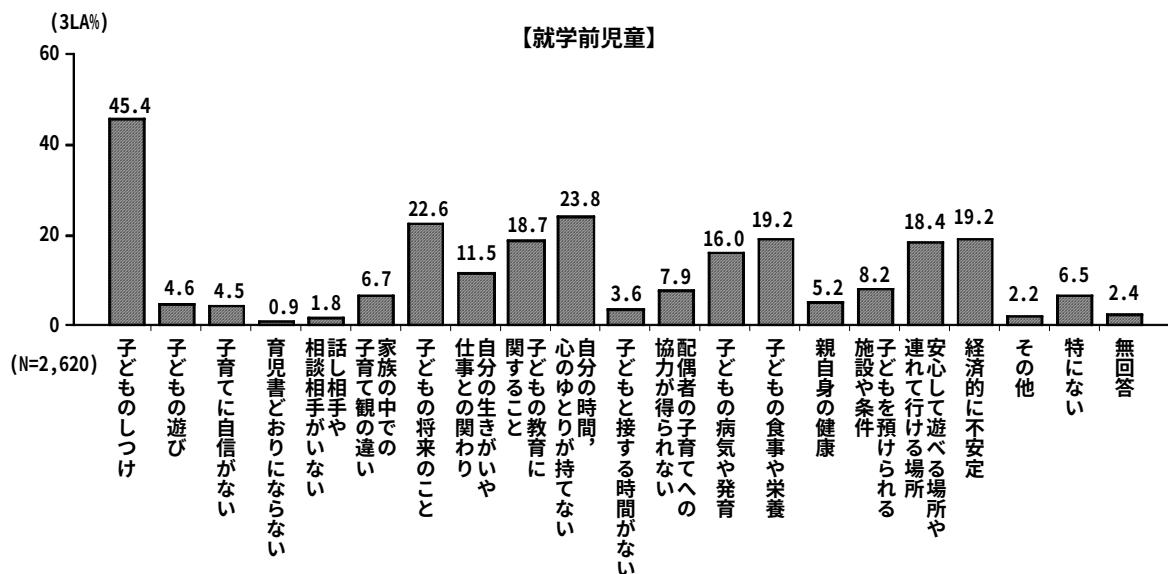
問 あて名のお子さんを育てていて、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。父親、母親別に、あてはまると思われるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 子育てに関する悩みや不安】



父親の子育てについての悩み、不安をみると、就学前児童、小学生ともに「子どものしつけ」が約 26～32%と最も多く、次いで「子どもの将来のこと」が 20%強、「子どもと接する時間がない」が約 17～23%となっている。また、小学生の父親では「子どもの勉強や進学に関すること」も 17.8%みられる。

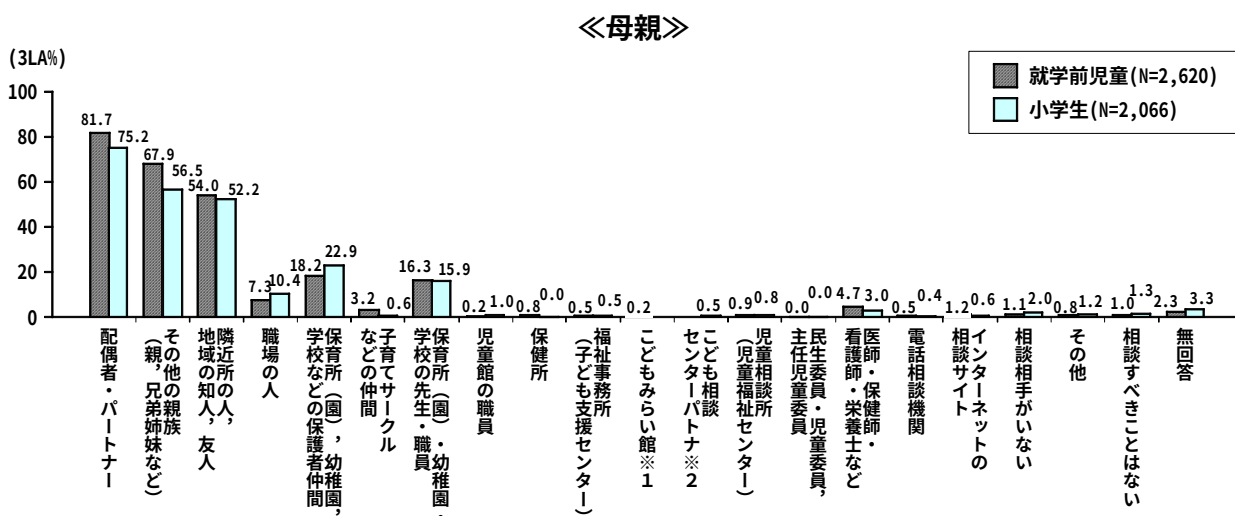
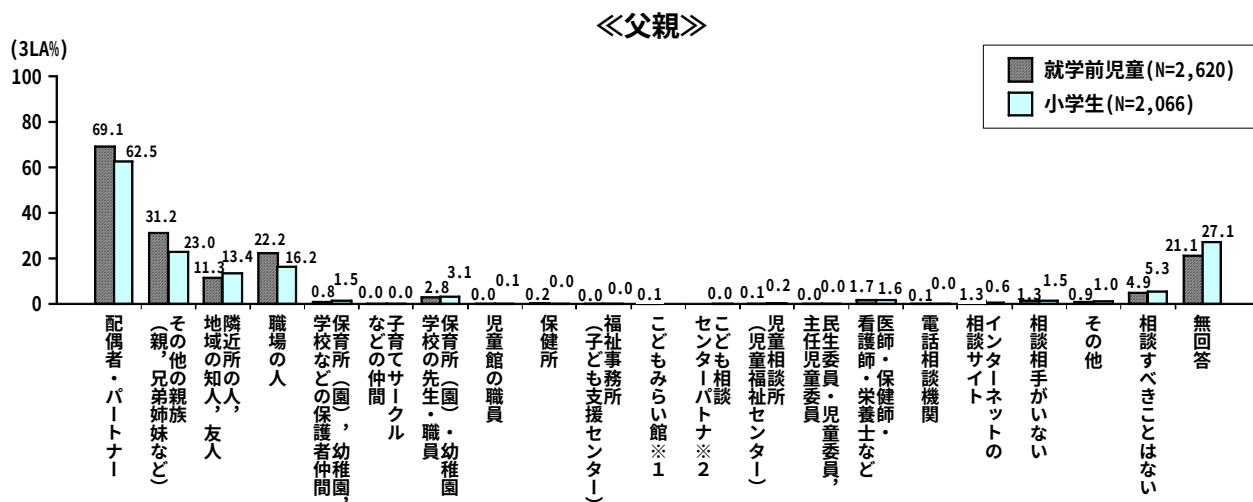
《母親》



母親の子育てについての悩み、不安については、父親同様、就学前児童の母親で「子どものしつけ」が45.4%と最も多く、次いで「自分の時間、心のゆとりが持てない」(23.8%)、「子どもの将来のこと」(22.6%)の順となっている。小学生の母親では「子どもの勉強や進学に關すること」が42.1%と最も多く、「子どものしつけ」(37.3%)、「子どもの将来のこと」(29.9%)も就学前児童の母親同様、多くなっている。また、「子どもの友だちづきあいに関すること」(25.8%)も多くなっている。

問 あて名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる悩みや不安を、誰に、またはどこに相談していらっしゃいますか。父親、母親別に、あてはまると思われるものを3つまで選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

【図 子育てに関する悩みや不安の相談先】



父親の相談先をみると、就学前児童、小学生ともに「配偶者・パートナー」が60%台と最も多く、次いで「その他の親族 (親、兄弟姉妹など)」「職場の人」の順となっている。

母親の相談先についても、就学前児童、小学生ともに「配偶者・パートナー」が70～80%台と最も多く、次いで「その他の親族 (親、兄弟姉妹など)」「隣近所の人、地域の知人、友人」の両項目が50～60%台と多くなっている。

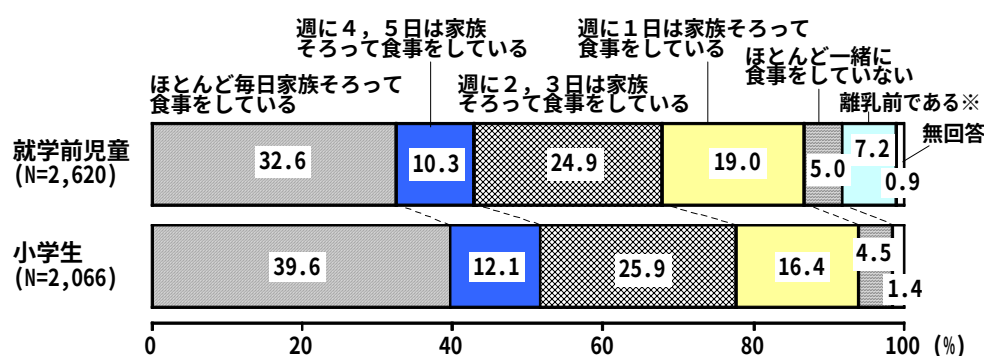
5. 子どもの健康、事故・犯罪防止のための家庭での対策

(1) 食事の状況

問 あて名のお子さんの食生活について、あてはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。

● ふだん家族そろって食事をするのがどのくらいありますか。

【図 家族そろって食事をする頻度】



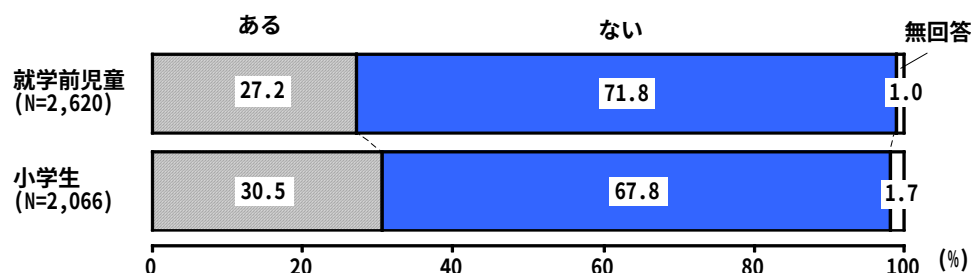
※ 小学生の選択肢には「離乳前である」はない。

家族そろって食事をする頻度をみると、「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」は就学前児童で 32.6%、小学生で 39.6%となっている。一方で、「ほとんど一緒に食事をしていない」子どもが、就学前児童で 5.0%、小学生で 4.5%みられる。

(2) 医療について

問 あなたは、あて名のお子さんが休日や夜間に急病（けがを含む）となり、医療機関を探すのに苦労したことがありますか。

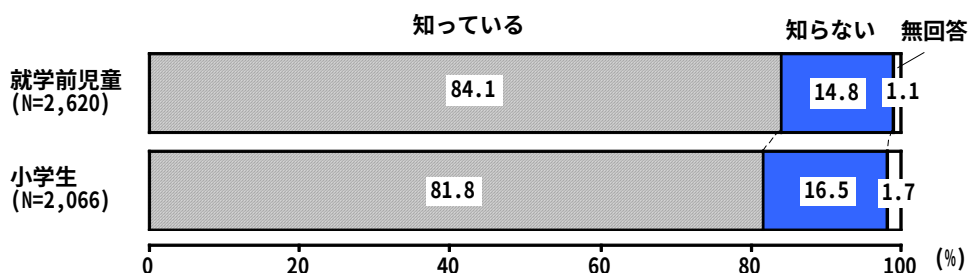
【図 急病時に医療機関が見つからず困った経験の有無】



子どもの急病時に医療機関が見つからず困ったことがあった人は、就学前児童の保護者で 27.2%、小学生の保護者で 30.5%となっている。

問 あなたは、休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

【図 小児救急医療機関の認知度】

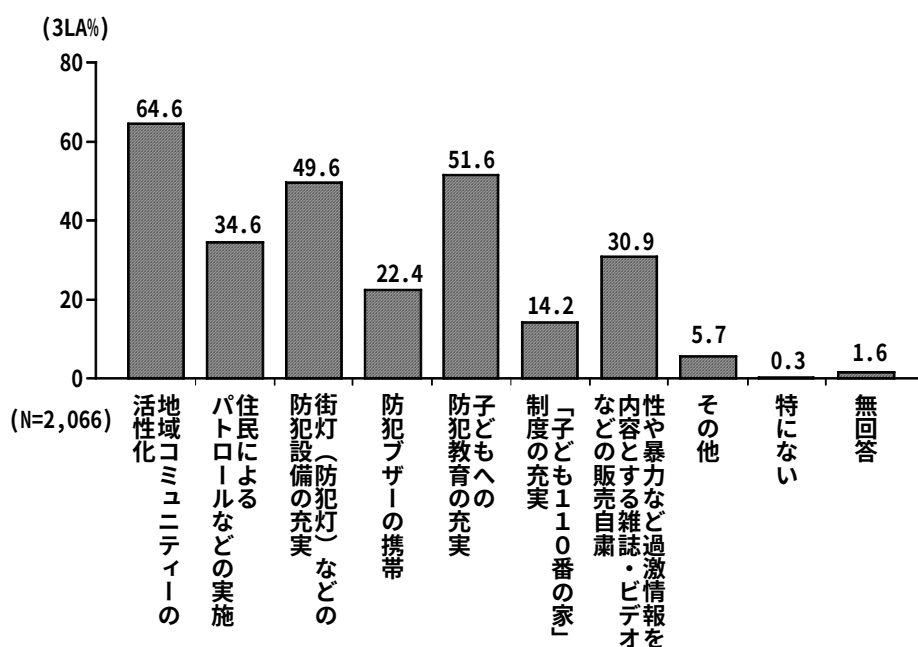


小児救急医療機関の認知度についてみると、就学前児童、小学生の保護者ともに「知っている」が80%以上を占めている。

(3) 事故・犯罪防止について

問 子どもが被害者となる犯罪が社会問題となっていますが、被害を予防・防止するために特に必要なことは何だと思われますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【図 子どもへの犯罪防止のため必要な対策（小学生）】



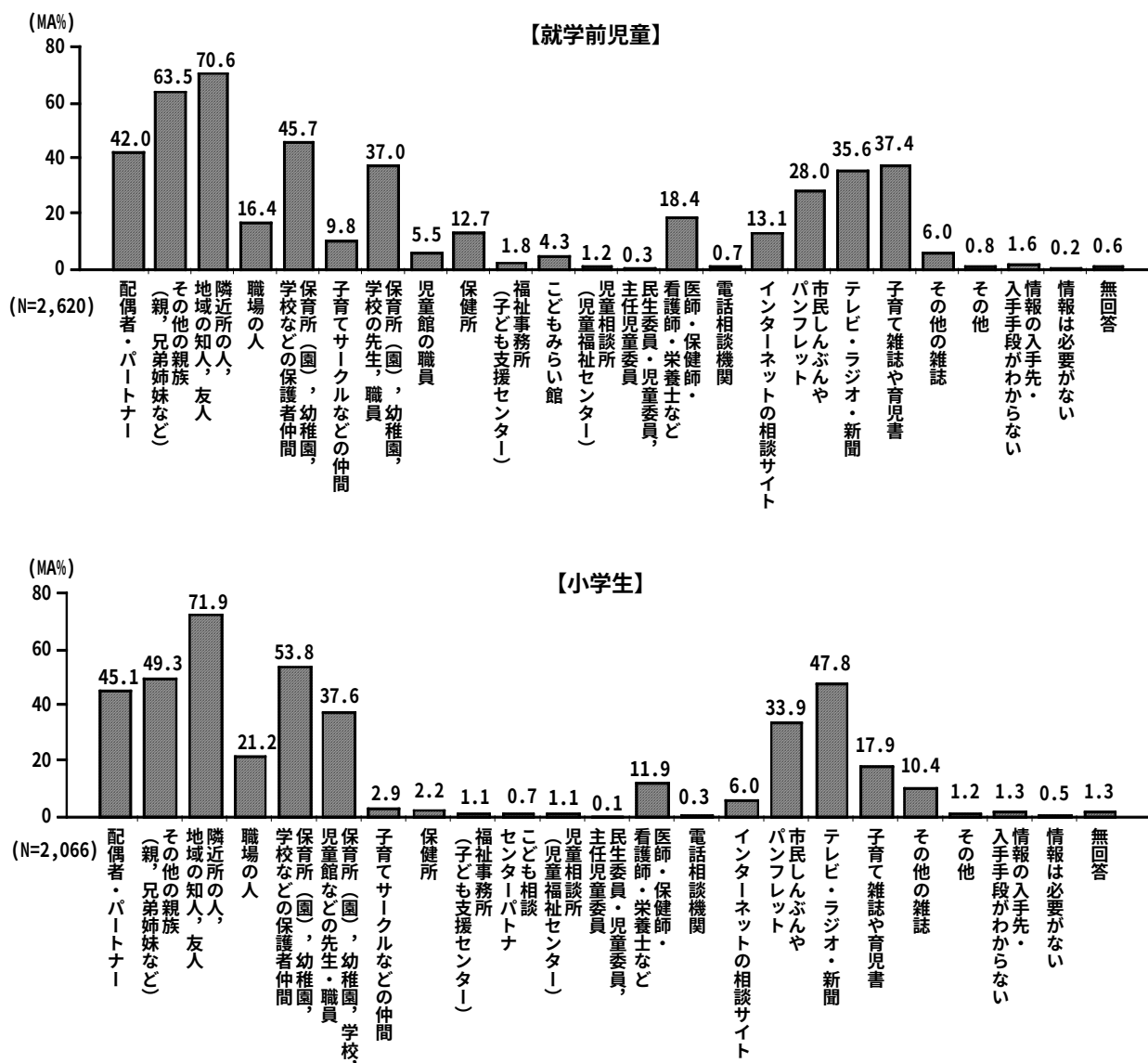
小学生の保護者に子どもへの犯罪防止に必要な対策をたずねたところ、「地域コミュニティの活性化」が64.6%と最も多く、次いで「子どもへの防犯教育の充実」(51.6%)、「街灯（防犯灯）などの防犯設備の充実」(49.6%)の順となっている。

6. 地域における子育て支援への意向

(1) 子育てに必要な情報の入手先

問 あなたは、子育てに必要な情報をどのように入手されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図 子育てに必要な情報の入手先】

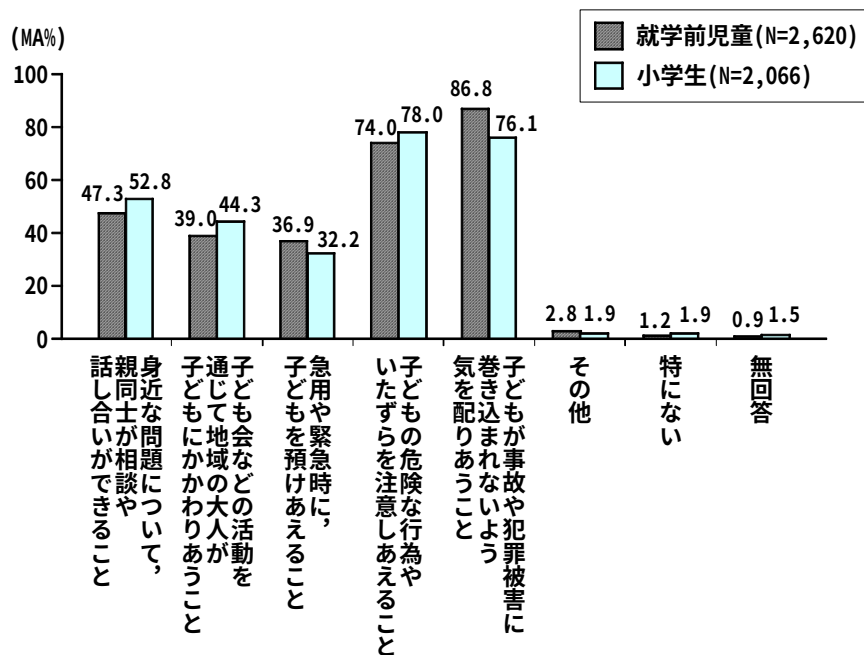


子育てに必要な情報の入手先をみると、就学前児童の保護者では「隣近所の人、地域の知人、友人」が70.6%と最も多く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」（63.5%）、「保育所（園）、幼稚園、学校などの保護者仲間」（45.7%）となっている。同様に、小学生の保護者についても「隣近所の人、地域の知人、友人」が71.9%と最も多いが、第2位（「保育所（園）、幼稚園、学校などの保護者仲間」）第3位（「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」）の順位が就学前児童と逆転している。また、就学前児童の保護者では、「テレビ・ラジオ・新聞」といったマスメディアと並んで、「子育て雑誌や育児書」が40%近くみられる。

(2) 子育てをするうえで地域に期待すること

問 あなたは、子育てをするうえで、地域にどのようなことを期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図 子育てをするうえで地域に期待すること】

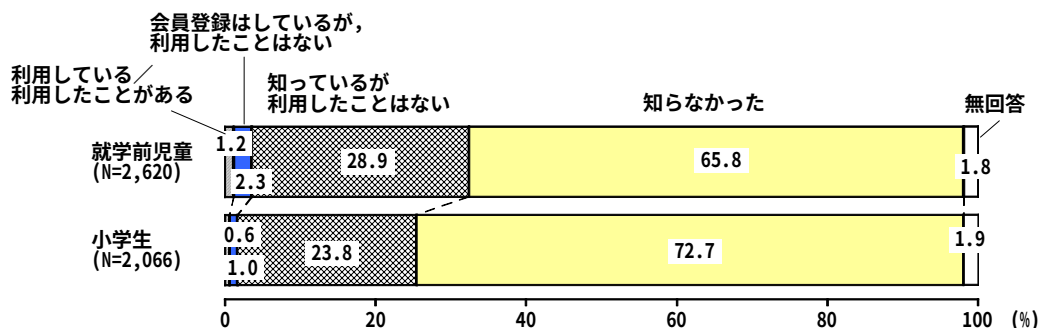


子育てをするうえで地域に期待することをたずねたところ、就学前児童の保護者では「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」が86.8%と最も多く、次いで「子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」(74.0%)、「身近な問題について、親同士が相談や話し合いができること」(47.3%)となった。小学生の保護者についても、「子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」の2項目が70%台と多く、「身近な問題について、親同士が相談や話し合いができること」も52.8%みられる。

(3) ファミリーサポート事業の利用状況及び利用意向

問 京都市では、市民の方々が会員登録し、相互に育児を助け合う事業（ファミリーサポート事業）を推進しています。この事業（活動）を利用したことはありますか。

【図 ファミリーサポート事業の利用状況】

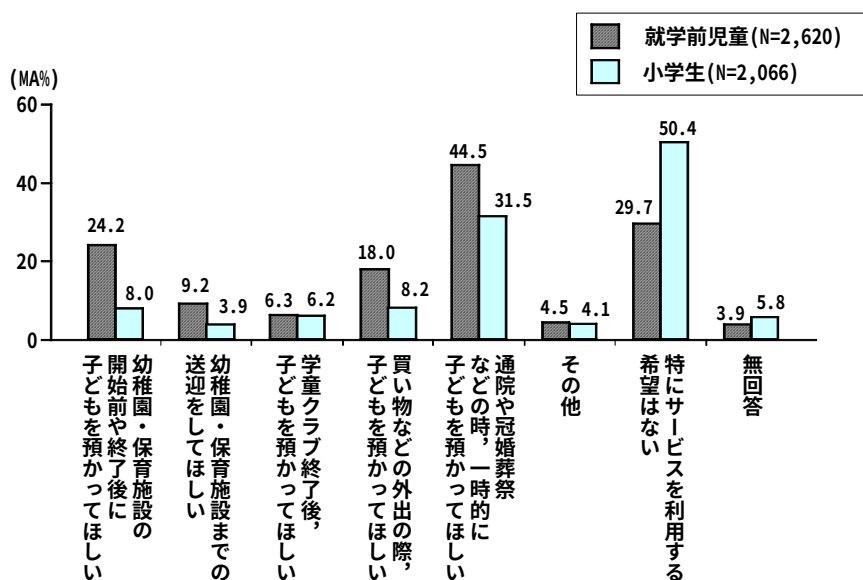


ファミリーサポート事業を「利用している／利用したことがある」人は、就学前児童の保護者で1.2%、小学生の保護者で0.6%となっており、また、「会員登録をしているが、利用したことはない」については、就学前児童の保護者で2.3%、小学生の保護者で1.0%みられる。一方、「知らなかった」が60～70%台となっている。

【すべての方におうかがいします】

問 ファミリーサポート事業を利用するとしたら、どのようなときに利用したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図 利用したいファミリーサポート事業のサービス】

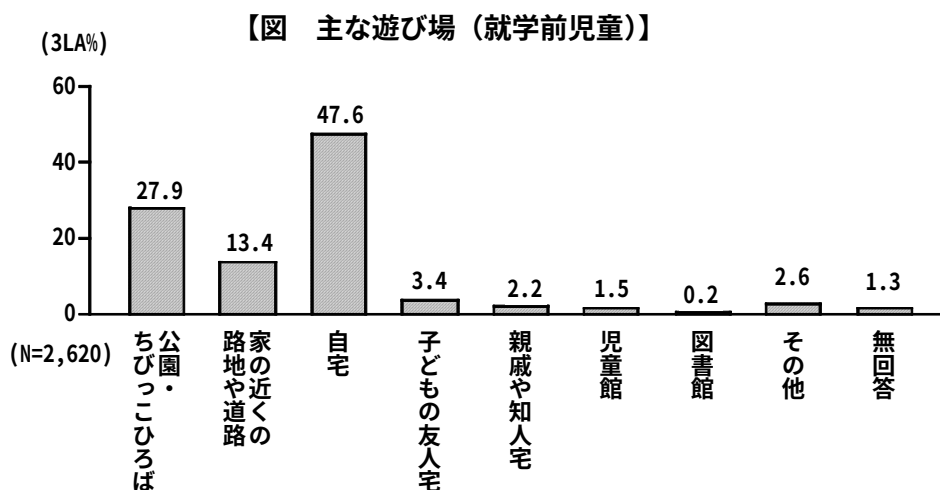


ファミリーサポート事業を利用する場合、希望するサービスをたずねたところ、就学前児童の保護者（44.5%）、小学生の保護者（31.5%）ともに「通院や冠婚葬祭などの時、一時的に子どもを預かってほしい」が最も多くなっている。また、就学前児童の保護者では、「幼稚園・保育施設の開始前や終了後に子どもを預かってほしい」が24.2%、「買い物などの外出の際、子どもを預かってほしい」が18.0%みられる。

7. 子どもの遊び場や子育て環境

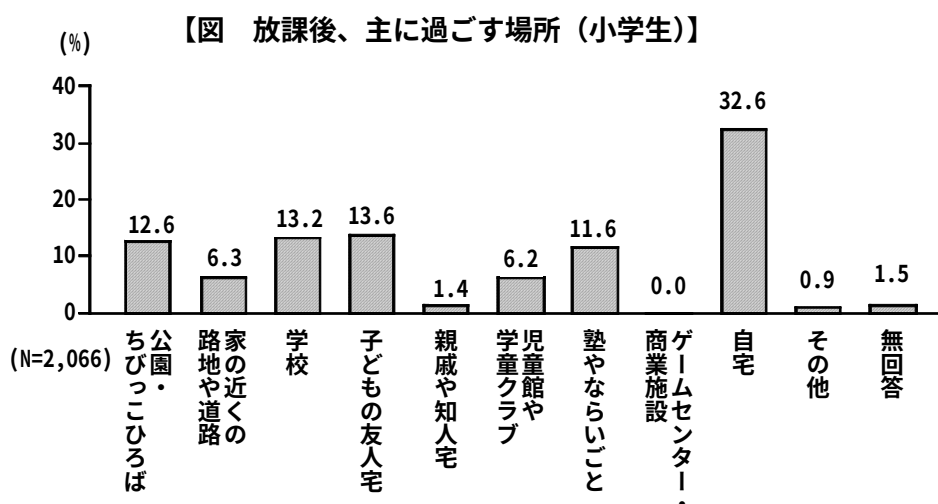
(1) 子どもの主な遊び場・放課後に過ごす場所

問 あて名のお子さんを，平日の日中どこで遊ばせることが多いですか。主なもの1つに○をつけてください。（保育所（園）・幼稚園などに通っているあて名のお子さんは，保育などの時間外でお答えください）



就学前児童の主な遊び場についてみると、「自宅」が 47.6%と最も多く、次いで「公園・ちびっこひろば」（27.9%）、「家の近くの路地や道路」（13.4%）の順となっている。

問 あて名のお子さんは，平日の放課後どこで過ごすことが多いですか。主なもの1つに○をつけてください。

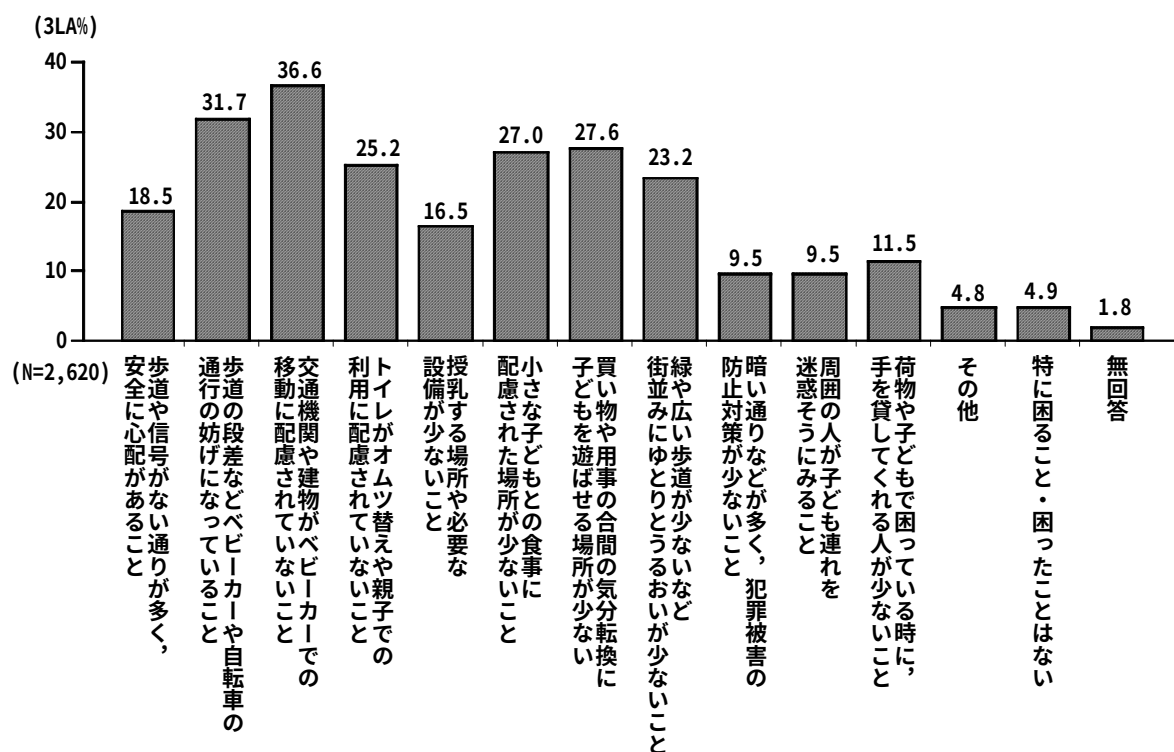


小学生が平日の放課後を主に過ごす場所は、「自宅」が 32.6%と最も多く、次いで「子どもの友人宅」「学校」「公園・ちびっこひろば」「塾やならいごと」がいずれも 10%強となっている。

(2) 子どもとの外出の際、困ること

問 あて名のお子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

【図 子どもとの外出の際、困ること（就学前児童）】

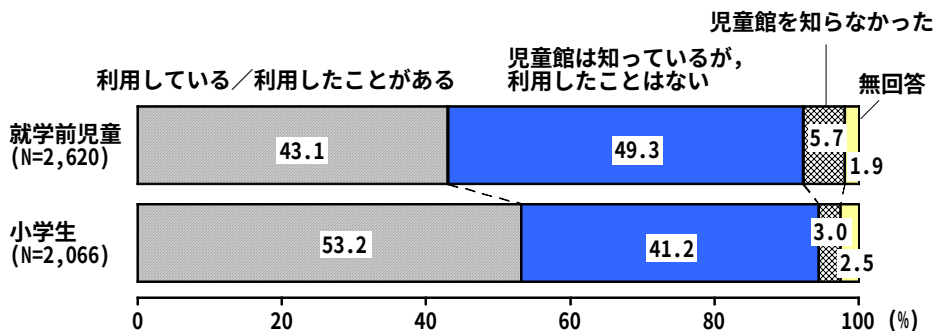


就学前児童の保護者に子連れで外出する際、困ることをたずねたところ、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が36.6%と最も多く、次いで「歩道の段差などベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること」が31.7%、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所が少ない」「小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと」がともに約27%となっている。

(3) 児童館の利用

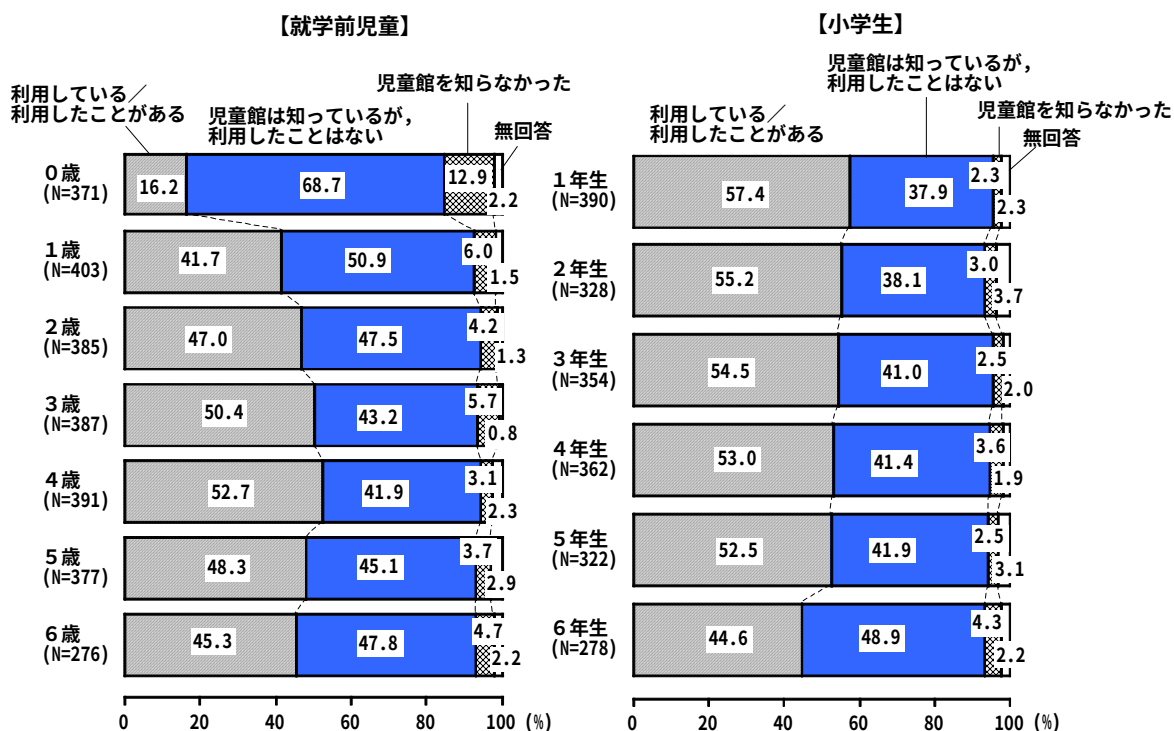
問 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の整備・運営を行っています。あて名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

【図 児童館の利用状況】



児童館を「利用している／利用したことがある」人は、就学前児童で 43.1%、小学生で 53.2%となっている。

【図 年齢（学年）別 児童館の利用状況】



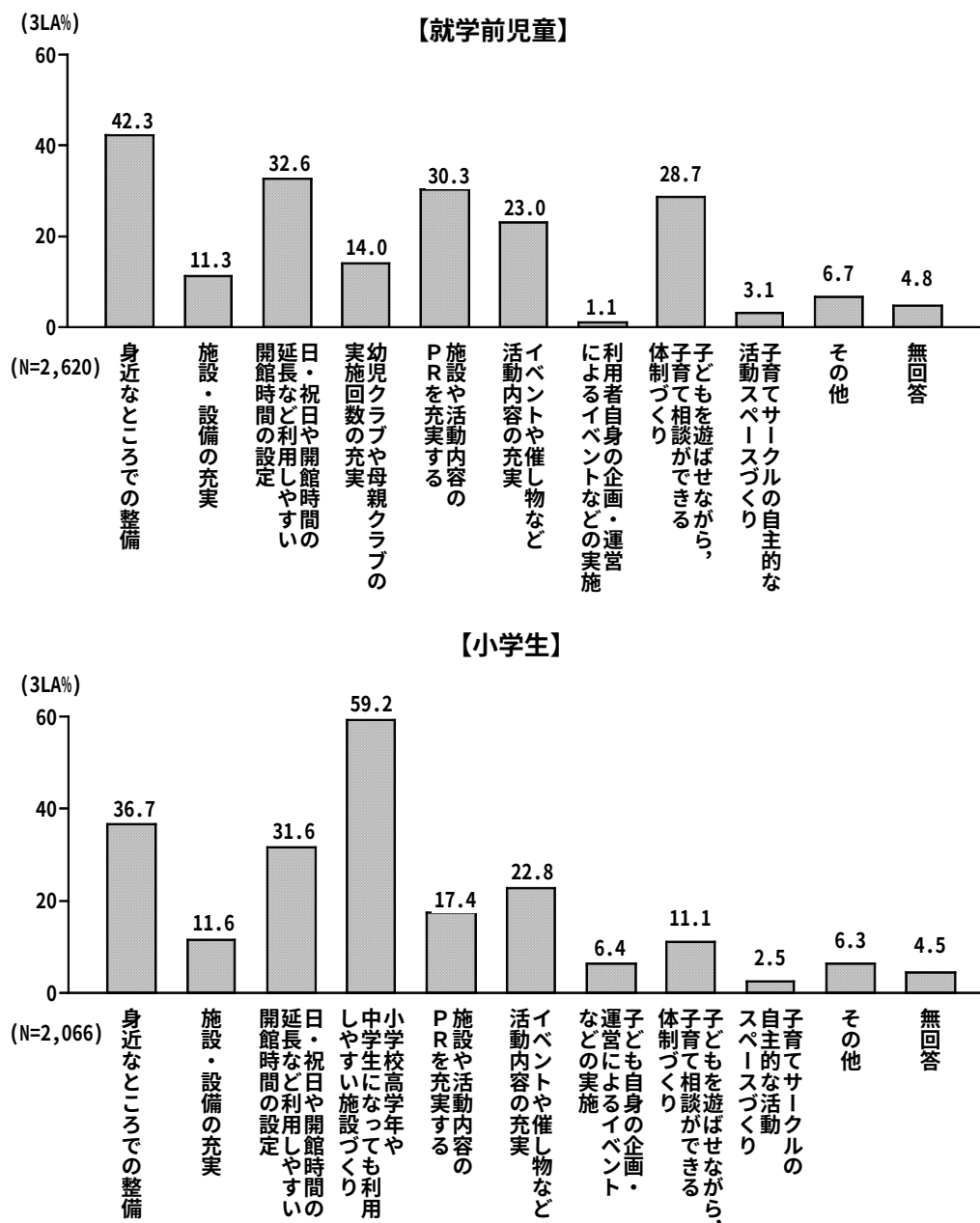
就学前児童の年齢別にみると、「利用している／利用したことがある」は、0歳を除き40%以上と高く、3歳と4歳では過半数を占める。「児童館を知らなかった」については全体的に低いものの、利用の少ない0歳児の保護者で12.9%とやや高くなっている。

小学生の学年別にみると、「利用している／利用したことがある」は1年生で57.4%と最も高く、学年が上がるにつれ割合が低くなる傾向にある。

【すべての方におうかがいします】

問 あて名のお子さんが利用しやすくするために、児童館について期待することは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【図 児童館に対して期待すること】



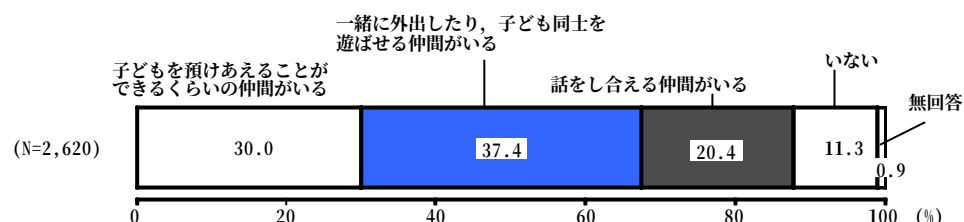
児童館に対して期待することは、就学前児童、小学生の保護者ともに「身近なところでの整備」「日・祝日や開館時間の延長など利用しやすい開館時間の設定」が相対的に多いが、小学生の保護者では「小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」が59.2%と際立って多くなっている。また、就学前児童の保護者では「施設や活動内容のPRを充実する」、「子どもを遊ばせながら、子育て相談ができる体制づくり」が小学生の保護者に比べ高くなっている。

8. 自主活動、地域活動について

(1) 自主的な活動への参加状況

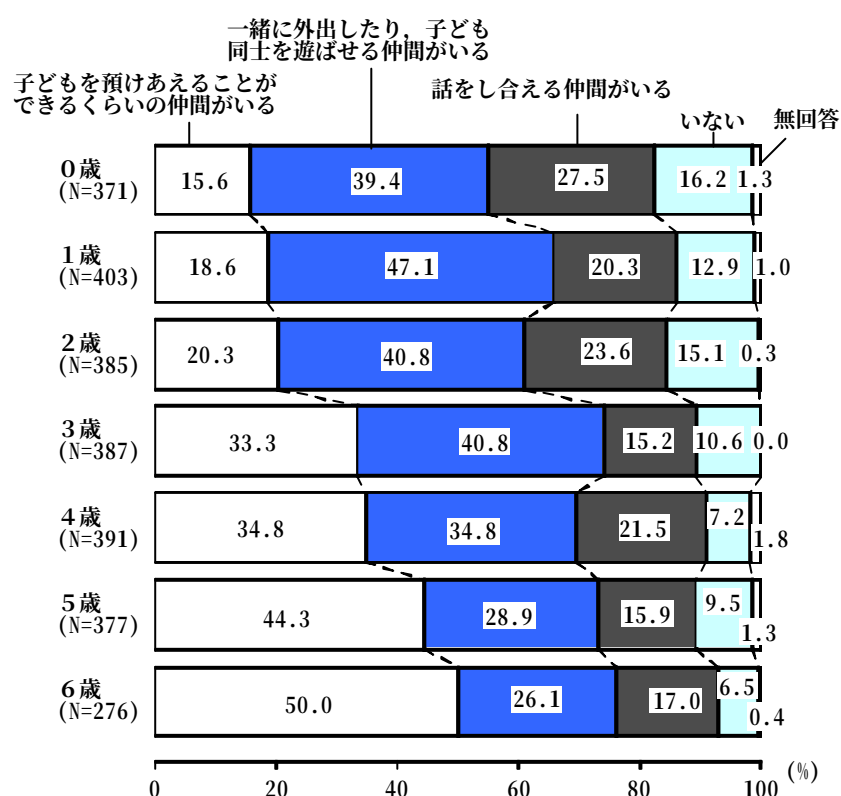
問 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。あてはまるものに○をつけてください。

【図 身近な子育て仲間の有無（就学前児童）】



就学前児童の保護者の子育て仲間については、「子どもを預けあえることができるくらいの仲間がいる」が30.0%、「一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」が37.4%と多く、「話をし合える仲間がいる」と合わせると、約9割に子育て仲間がいる状況である。

【図 年齢別 身近な子育て仲間の有無（就学前児童）】

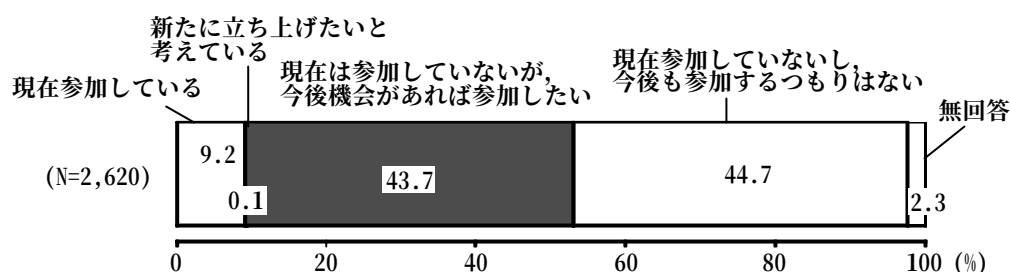


年齢別にみると、子どもの年齢が上がるにつれ、子育て仲間が「いる」※人の割合が概ね増加し、6歳児では93.1%を占める。そのなかでも「子どもを預けあえることができるくらいの仲間がいる」については、0・1歳児の10%台に対して5・6歳では40～50%台と高くなっている。

※「子どもを預けあえることができるくらいの仲間がいる」「一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」「話をし合える仲間がいる」の計

問 あなたは子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。あてはまるものに○をつけてください。

【図 子育てサークルなど自主的な活動への参加状況（就学前児童）】

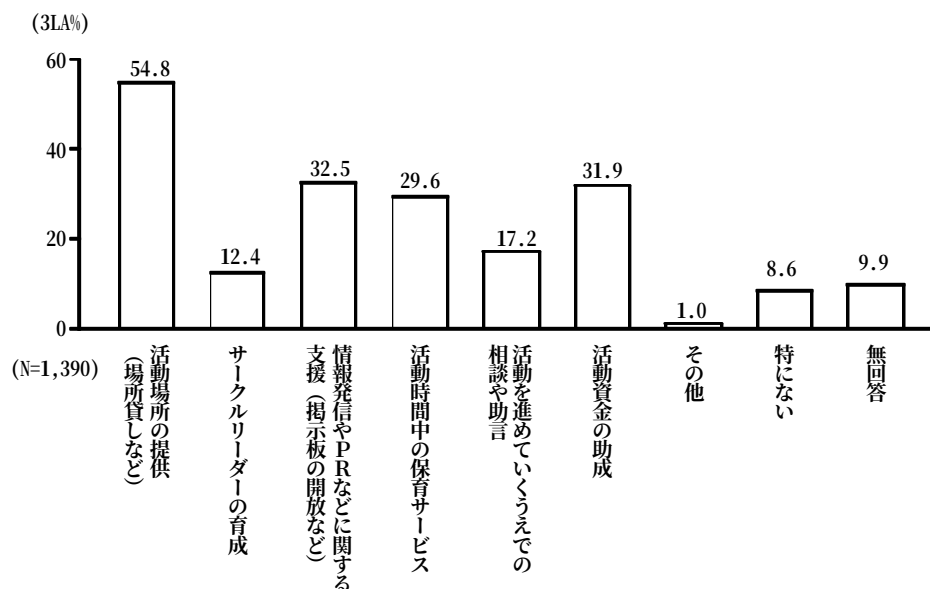


現在、子育てサークルなど自主的な活動に参加している割合は、就学前児童の保護者の9.2%であり、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が43.7%、「現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が44.7%を占めている。

【自主的な活動に参加したい方におうかがいします】

問 子育てサークルなどの自主的な活動をしていくにあたって行政や地域に行ってほしい支援はどのようなものですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【図 自主活動にあたって行政や地域に期待すること（就学前児童）】

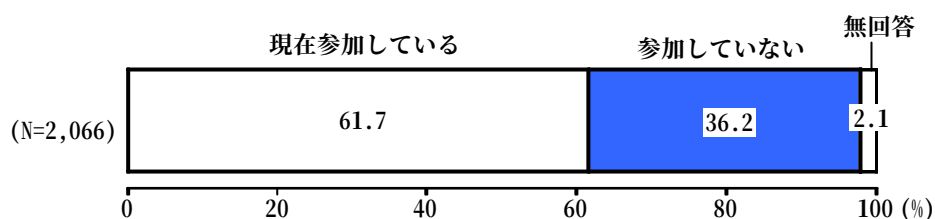


自主活動に当たって行政や地域に期待することは、「活動場所の提供（場所貸しなど）」が54.8%と最も多く、「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）」「活動資金の助成」「活動時間中の保育サービス」も30%前後みられる。

(2) 地域活動への参加状況

問 あて名のお子さんを主に面倒をみられている方の地域活動の参加状況についておうかがいします。あなたは地域活動に参加していますか。あてはまるものに○をつけてください。

【図 地域活動への参加状況（小学生）】

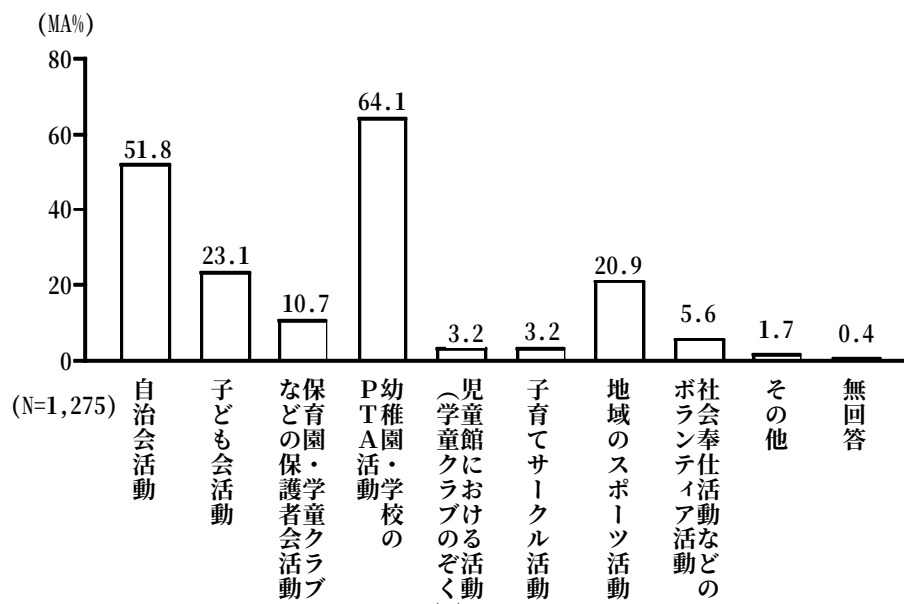


現在、地域活動に参加している割合は、小学生の保護者の 61.7%となっている。

【現在、地域活動に参加している方におうかがいします】

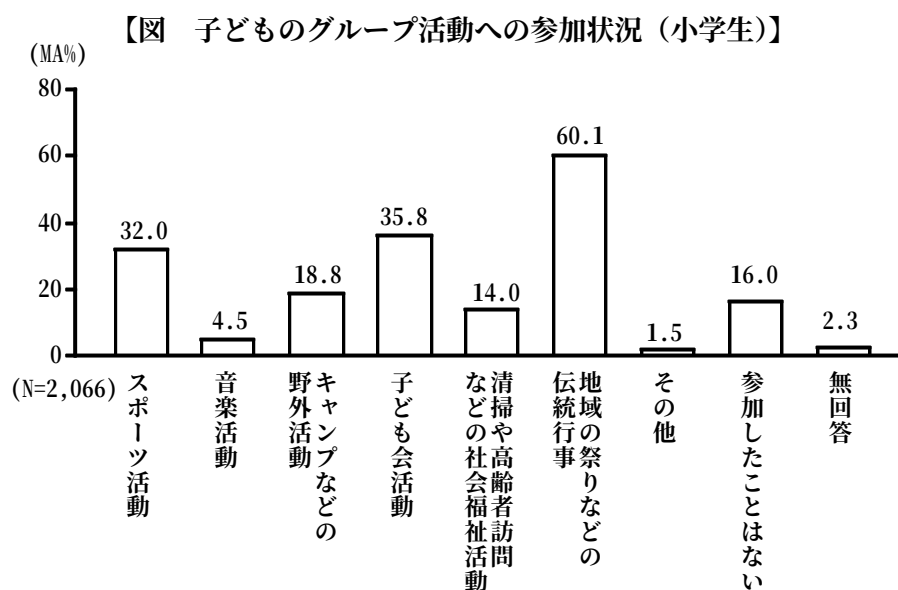
問 それはどんな活動ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図 参加している地域活動（小学生）】



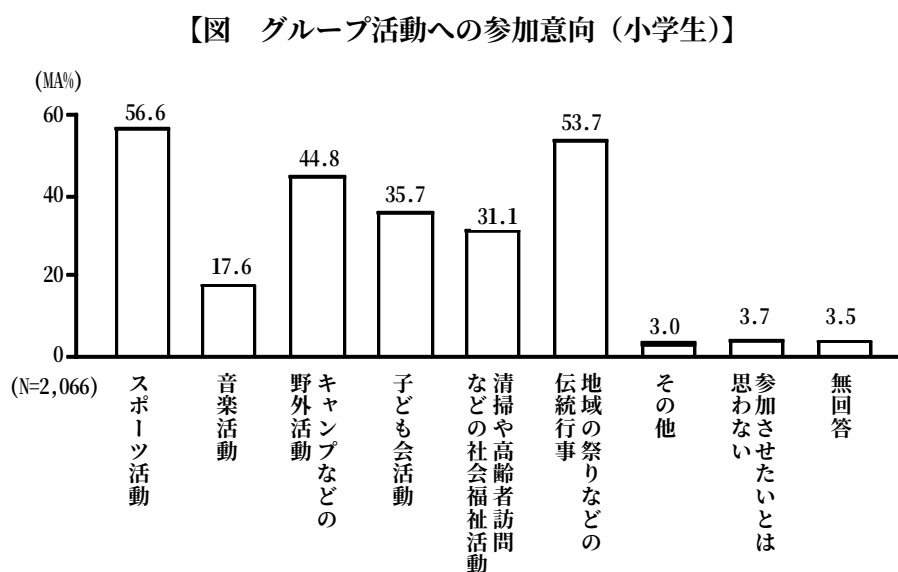
参加している活動内容については、「幼稚園・学校のPTA活動」が 64.1%と最も多く、次いで「自治会活動」が 51.8%となっている。

問 あて名のお子さんは、地域的なグループ活動に参加したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



小学生の子どもが参加している地域のグループ活動としては、「地域の祭りなどの伝統行事」が60.1%と最も多く、次いで「子ども会活動」(35.8%)、「スポーツ活動」(32.0%)の順となっている。一方、「参加したことはない」も16.0%みられる。

問 今後、あて名のお子さんを、どのような地域的なグループ活動に参加させたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



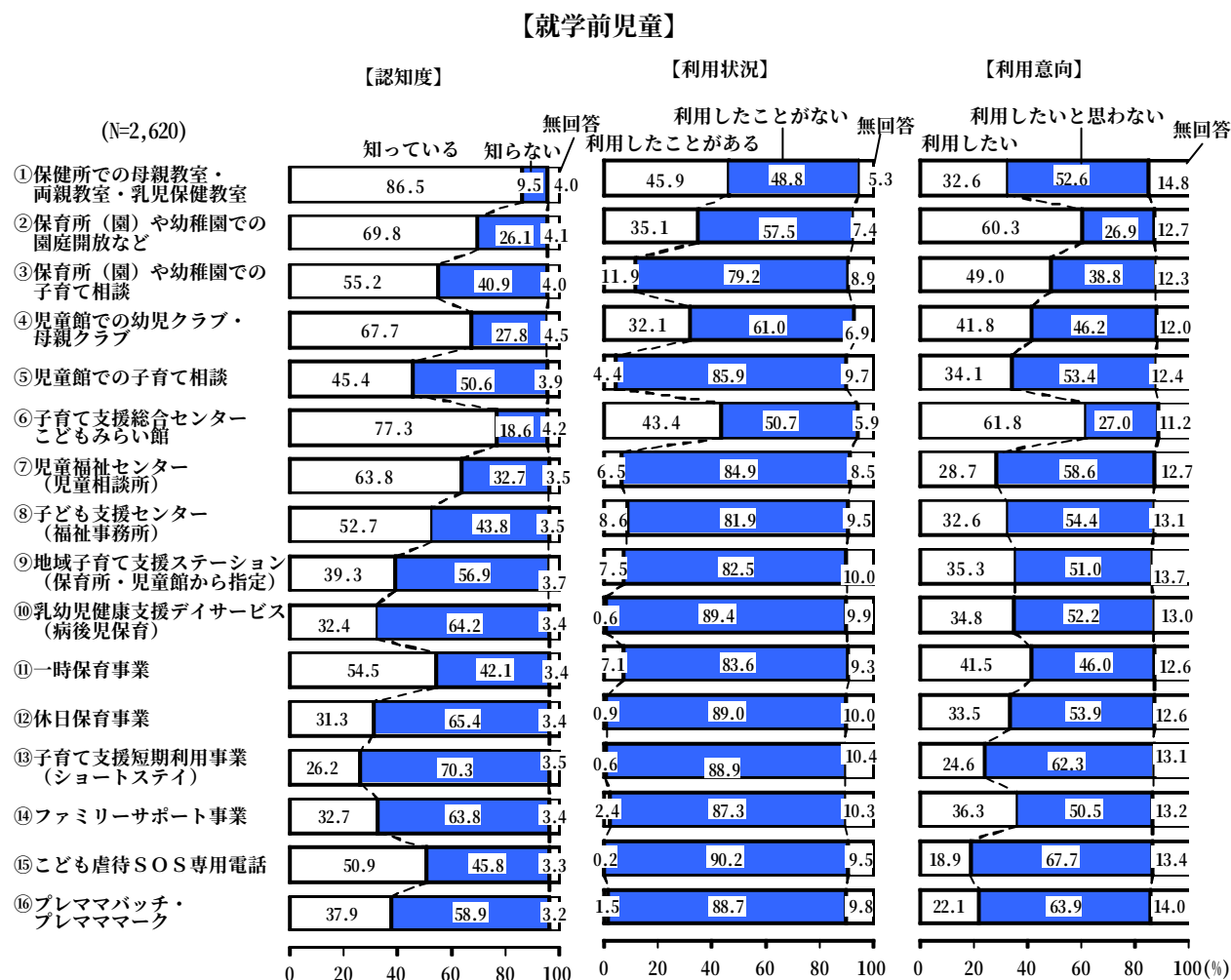
今後、子どもに参加させたいグループ活動については、「スポーツ活動」「地域の祭りなどの伝統行事」がともに50%台と多く、次いで「キャンプなどの野外活動」が44.8%となっている。

9. 子育て環境について

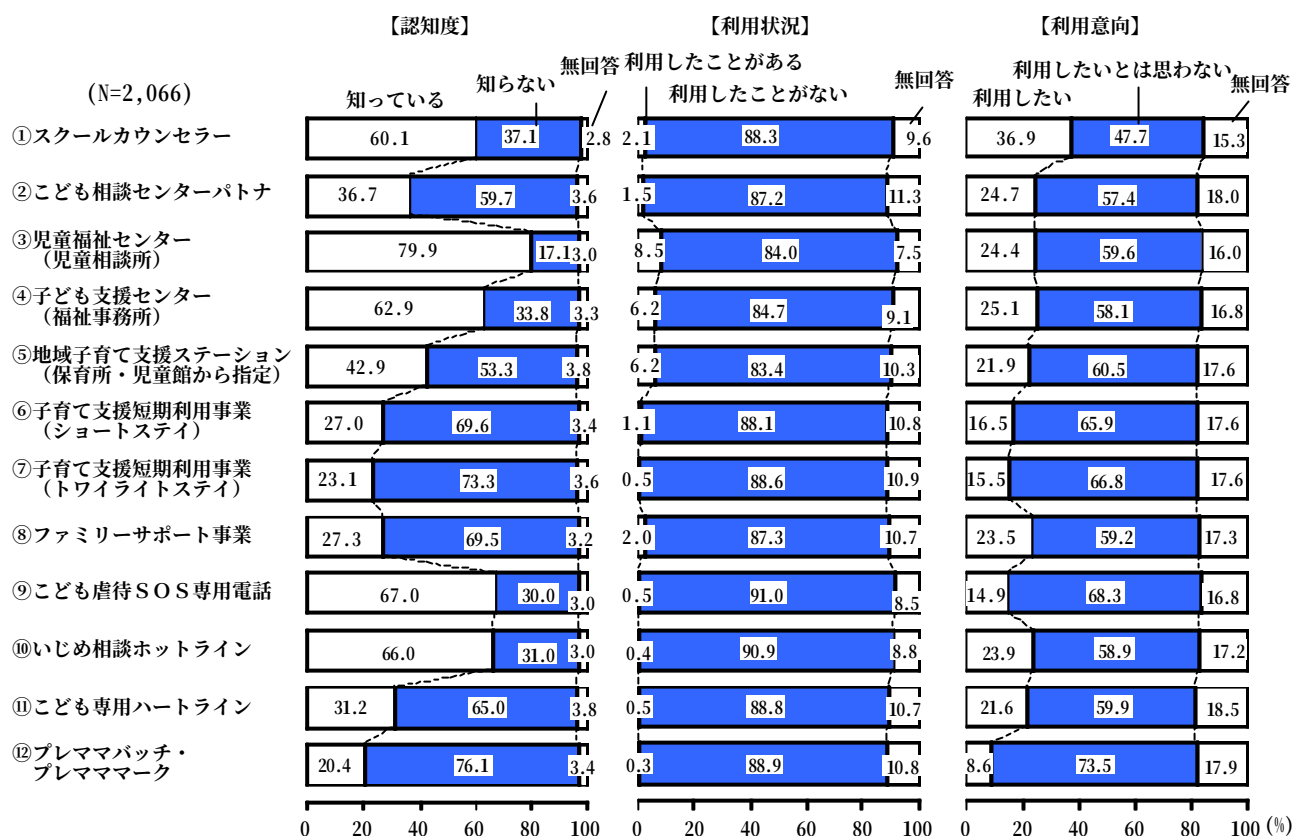
(1) 子育て支援サービスの認知度・利用状況、今後の利用意向

問 以下の子育て支援施策や子育て支援サービスを知っていたり、これまでに利用したこと
がありますか。また、今後利用したいと思いますか。各サービスごとに、「はい」・「いいえ」
のいずれかに○をつけてお答えください。

【図 子育て支援サービスの認知度・利用状況、今後の利用意向】



【小学生】



【認知度】

子育て支援サービスの認知度をみると、就学前児童の保護者では、『①保健所での母親教室・両親教室・乳児保健教室』（86.5%）、『⑥子育て支援総合センターこどもみらい館』（77.3%）などの認知度が高いのに対し、『⑬子育て支援短期利用事業（ショートステイ）』（26.2%）、『⑫休日保育事業』（31.3%）などでは相対的に低くなっている。小学生の保護者では『③児童福祉センター（児童相談所）』（79.9%）をはじめ、『⑨こども虐待SOS専用電話』（67.0%）、『⑩いじめ相談ホットライン』（66.0%）などの認知度が高く、『⑫プレママパッチ・プレマママーク』（20.4%）、『⑦子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）』（23.1%）などは低くなっている。

【利用状況】

子育て支援サービスの利用状況をみると、就学前児童では、『①保健所での母親教室・両親教室・乳児保健教室』（45.9%）をはじめ、『⑥子育て支援総合センターこどもみらい館』（43.4%）、『②保育所（園）や幼稚園での園庭開放など』（35.1%）、『④児童館での幼児クラブ・母親クラブ』（32.1%）について3割以上の利用があり、小学生では『③児童福祉センター（児童相談所）』『④子ども支援センター（福祉事務所）』『⑤地域子育て支援ステーション（保育所・児童館から指定）』の利用が相対的に多くなっている。

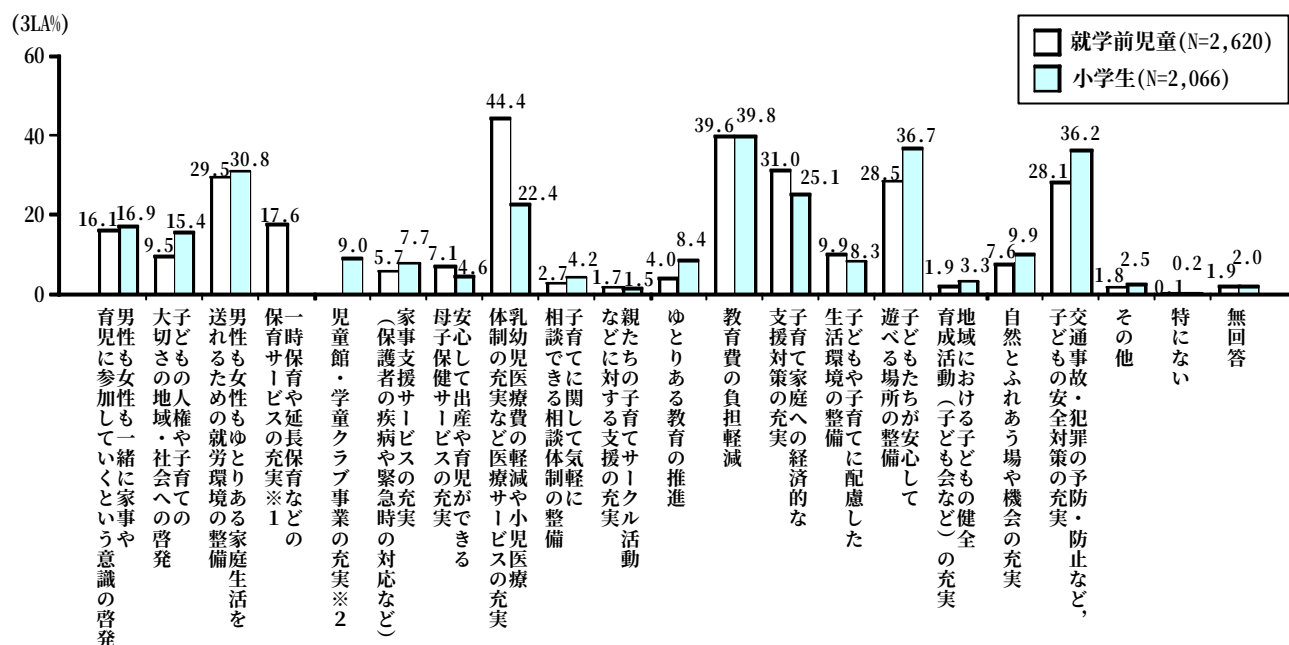
【利用意向】

今後の利用意向については、就学前児童の保護者では、『⑥子育て支援総合センターこどもみらい館』（61.8%）、『②保育所（園）や幼稚園での園庭開放など』（60.3%）、小学生の保護者では『①スクールカウンセラー』（36.9%）の利用希望が多くなっている。

(2) 子育てに関して市・府・国に期待すること

問 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・府・国にどのようなことを期待しますか。あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

【図 子育てに関して市・府・国に期待すること】



※1 小学生の選択肢には「一時保育や延長保育などの保育サービスの充実」はない。

※2 就学前児童の選択肢には「児童館・学童クラブ事業の充実」はない。

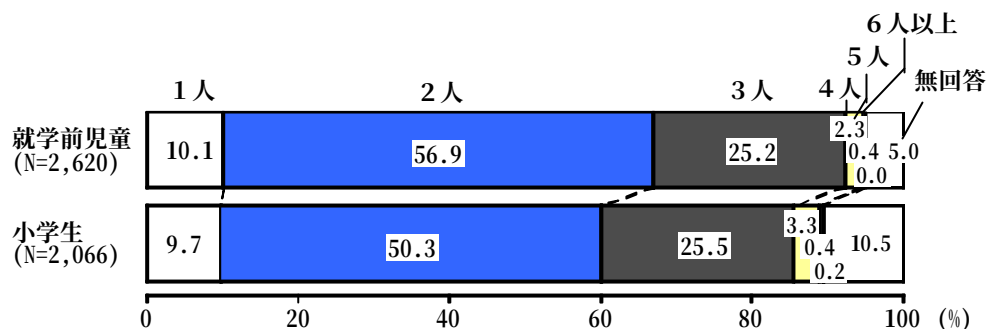
市・府・国に期待する子育て支援策についてみると、就学前児童の保護者では「乳幼児医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が44.4%と最も多く、次いで「教育費の負担軽減」(39.6%)、「子育て家庭への経済的な支援対策の充実」(31.0%)となっている。一方、小学生の保護者では、「教育費の負担軽減」が39.8%と最も多く、次いで「子どもたちが安心して遊べる場所の整備」(36.7%)、「交通事故・犯罪の予防・防止など、子どもの安全対策の充実」(36.2%)の順である。

10. 少子化について

子どもの数の理想と実際

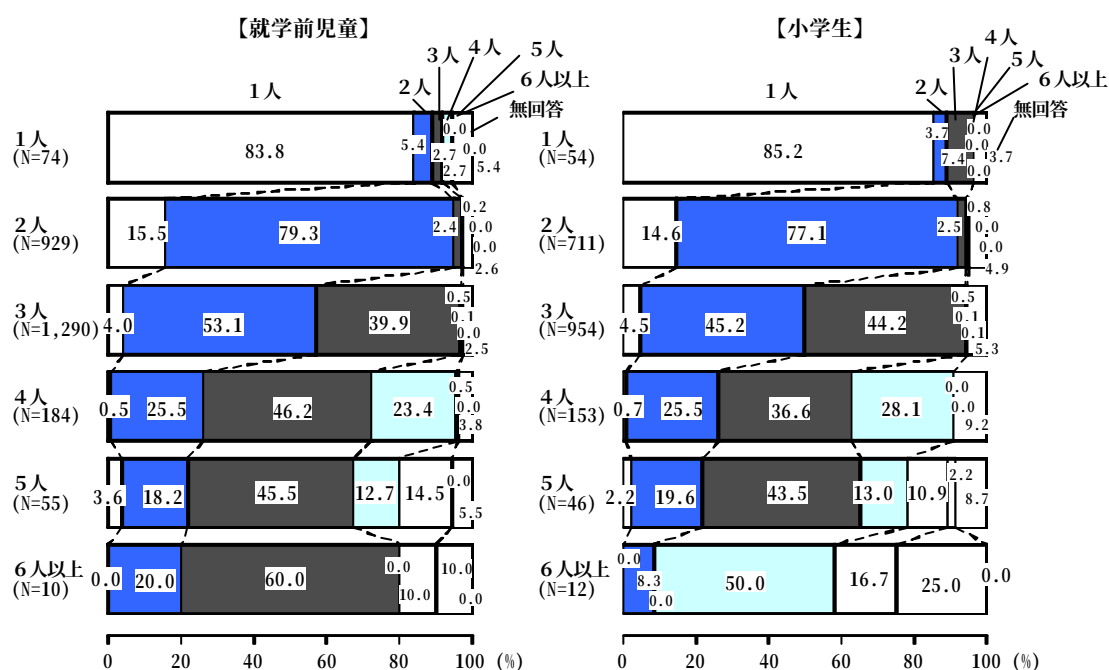
問 あて名のお子さんも含め、何人の子どもを持とうと予定されていますか。

【図 予定する子どもの人数】



予定する子どもの人数をみると、就学前児童の保護者（56.9%）、小学生の保護者（50.3%）ともに「2人」が最も多く、次いで「3人」「1人」の順となっている。

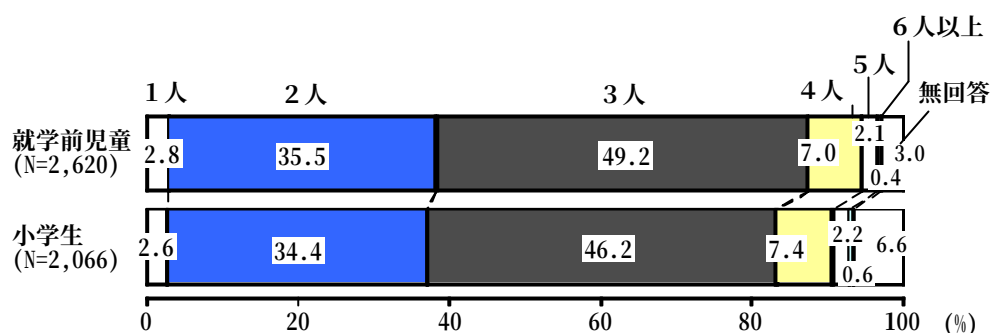
【図 理想の子どもの人数別 予定する子どもの人数】



理想の子ども人数別にみると、就学前児童、小学生ともに理想の子どもの人数が「1人」「2人」では、予定の子どもの人数と合致している人が多いが、3人以上になると理想の子どもの人数より予定の子どもの人数が下回っている人が多くなっている。

問 あなたの理想として、何人の子どもが欲しいと思いますか。

【図 理想の子どもの人数】

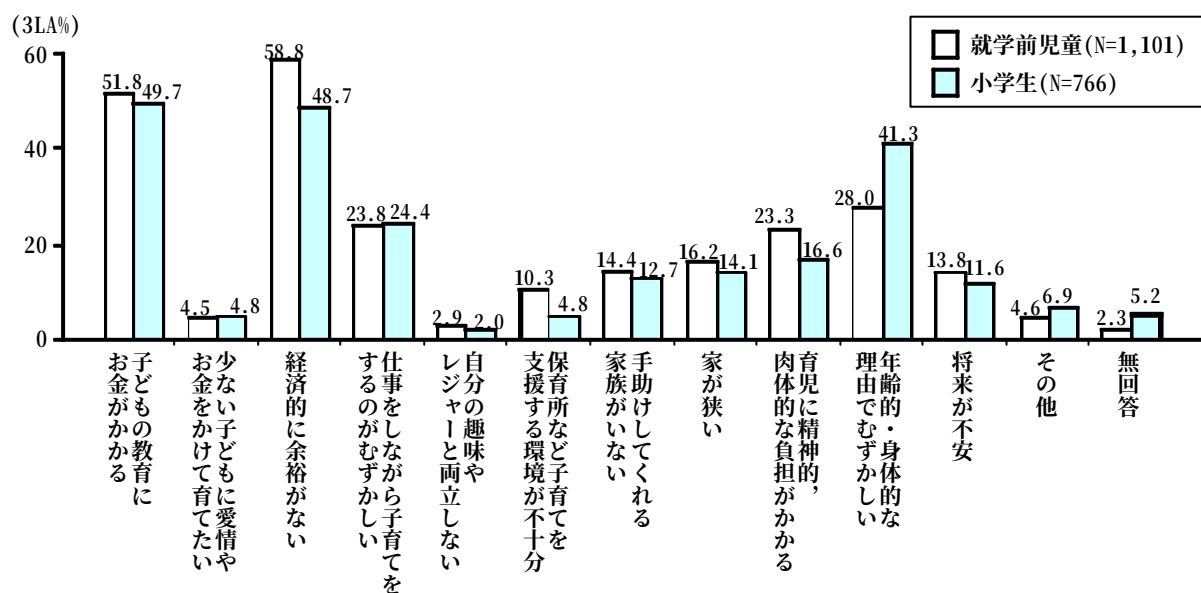


理想の子どもの人数については、就学前児童の保護者（49.2%）、小学生の保護者（46.2%）ともに「3人」が最も多く、次いで「2人」であり、「4人以上」も10%前後みられる。

【理想の子ども数より、予定している子ども数が少ない方におうかがいします】

問 理想の子ども数より、予定されている子ども数が少ないのはなぜですか。あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

【図 理想より予定している子どもの人数が少ない理由】



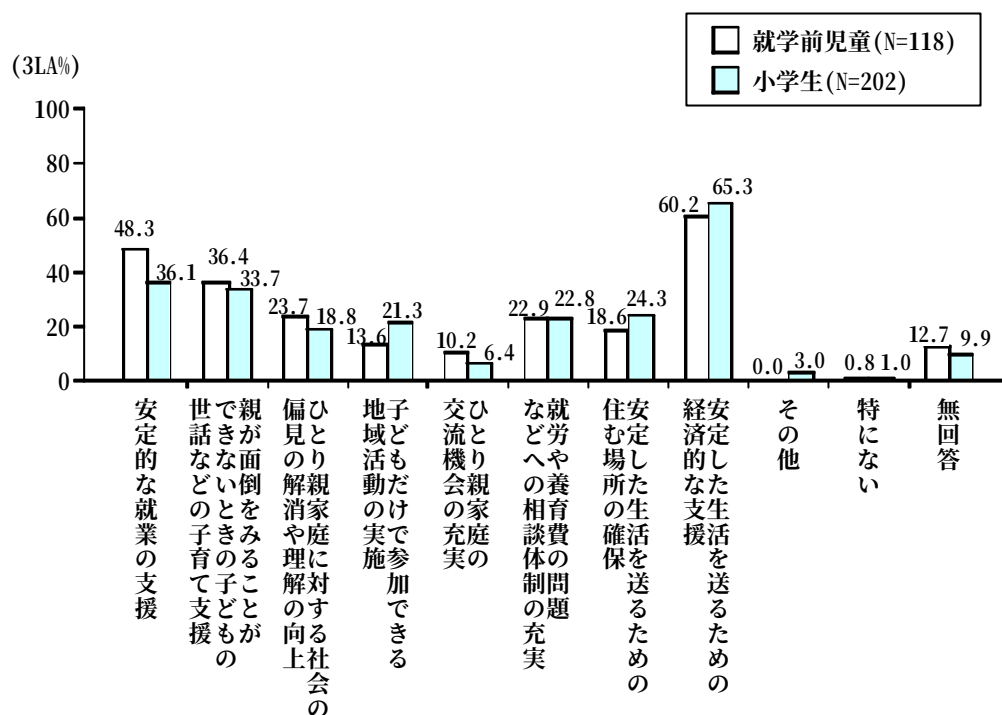
理想の子どもの人数より予定の人数が少ない人にその理由をたずねたところ、就学前児童、小学生の保護者ともに「子どもの教育にお金がかかる」「経済的に余裕がない」がいずれも約5割～6割と多く、また、小学生の保護者では「年齢的・身体的な理由で難しい」も41.3%みられる。

11. ひとり親家庭に対する必要な支援

【ひとり親家庭（母子家庭あるいは父子家庭）の方におうかがいします】

問 あて名のお子さんを育てていくうえで、必要な支援は次のうちどれですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【図 ひとり親家庭に対する必要な支援】

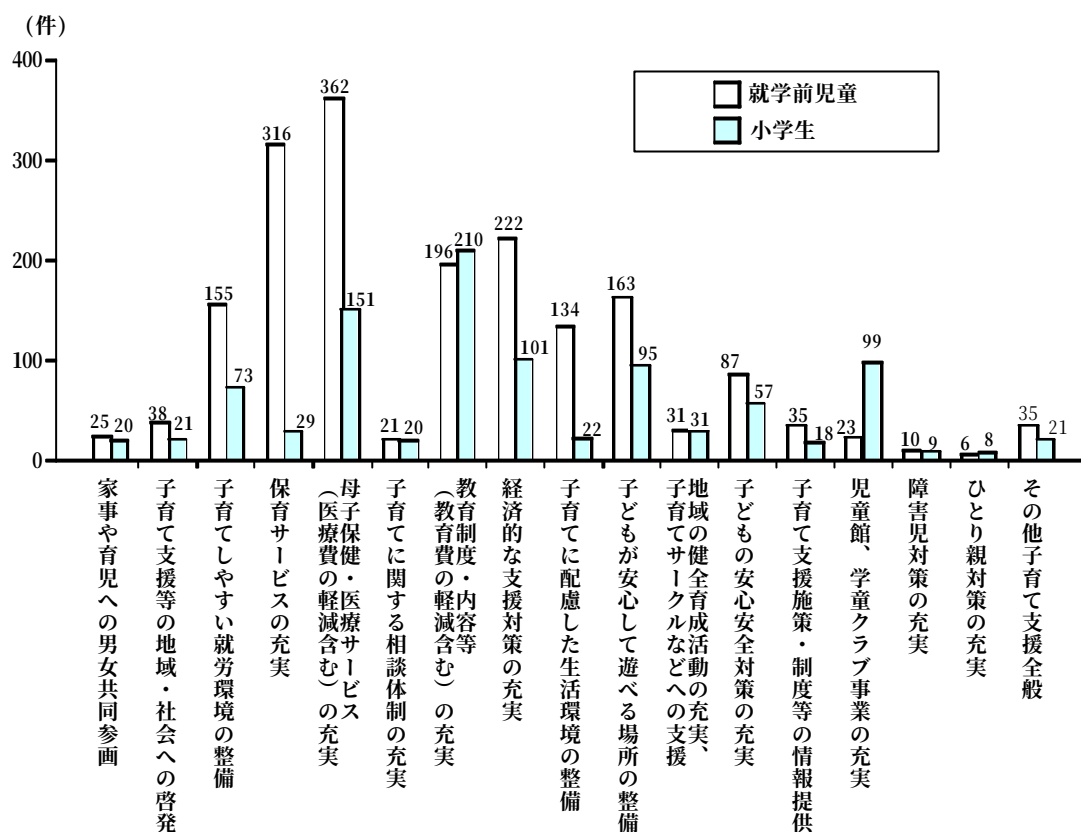


ひとり親家庭に対して必要な支援をたずねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「安定した生活を送るための経済的支援」が60%台と最も多く、次いで「安定的な就業の支援」「親が面倒をみるのができないときの子どもの世話などの子育て支援」が多くなっている。

12. 自由意見

問 安心して子どもを産み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【図 自由意見の分野別集計結果】



自由記入欄に書かれた子育てに関する意見を分野別に集計したところ、就学前児童では「母子保健・医療サービス（医療費の軽減含む）の充実」が362件と最も多く、次いで「保育サービスの充実」(316件)となっている。小学生では「教育制度・内容等（教育費の軽減含む）の充実」が210件と最も多くなっており、次いで「母子保健・医療サービス（医療費の軽減含む）の充実」(151件)となっている。

京都市子育て支援に関する市民ニーズ調査

報 告 書

(概要版)

発行年月日 平成16年10月

発 行 京都市

〒604-8101

京都市中京区柳馬場御池下る

柳八幡町65番地 朝日ビル